

第4回 国道115号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会

日時:平成30年1月19日(金)14:00~16:00

会場:コラッセ福島5F 特別室

次第

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議事

(1) 国道115号相馬福島道路の進捗状況・整備効果(資料-1)

(2) 連携施策の取り組み事例紹介(資料-2)

・道路整備促進による連携施策の取り組み事例(産業・物流・観光)

(3) 意見交換(資料-3)

I これまでの経緯と議論した内容について

II 各分野における今後の進め方(案)について

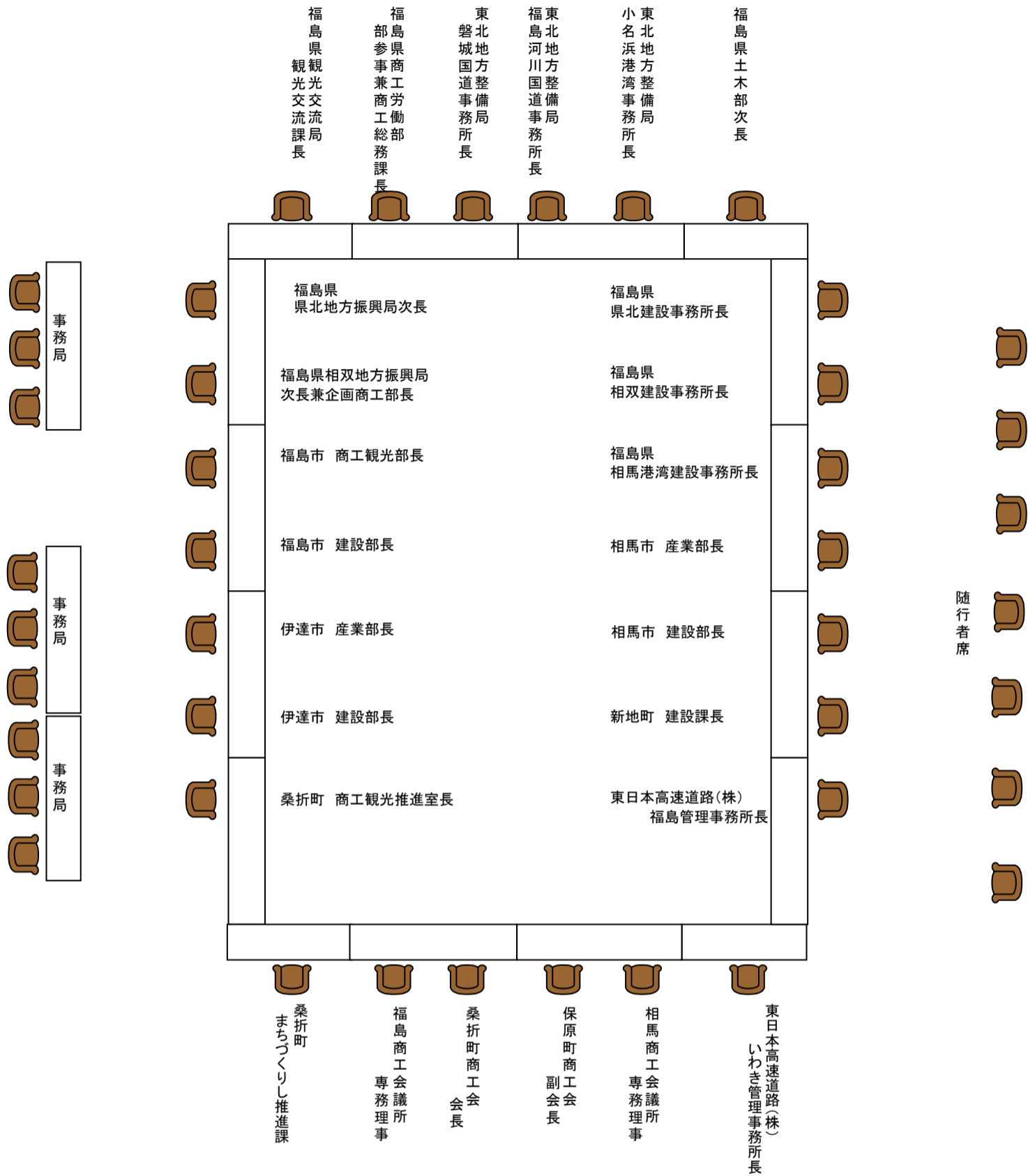
(道の駅関連・観光関連・産業・物流関連)

4. その他

5. 閉会

第4回 国道115号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会 座席表

出入り



報道関係者席



報道関係者席



随行者席



出入り口

出入り口

第4回 国道115号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会 委員一覧

代理出席

会長	国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所長	石井 宏明	
副会長	国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所長	松田 和香	
副会長	国土交通省 東北地方整備局 小名浜港湾事務所長	仙崎 達治	副所長 田中道幸
委員	福島県 商工労働部 部参事兼商工総務課長	古俣 勝也	
委員	福島県 観光交流局 観光交流課長	吾妻 嘉博	観光交流課主任主査 小島哲
委員	福島県 土木部次長（道路担当）	猪股 慶藏	
委員	福島県 県北地方振興局 次長	須藤 幹子	
委員	福島県 相双地方振興局 次長兼企画商工部長	石川 靖	
委員	福島県 県北建設事務所長	大谷 誠二	主幹兼企画管理部長 外川泰司
委員	福島県 相双建設事務所長	井戸川 伸	
委員	福島県 相馬港湾建設事務所長	南場 貴史	
委員	福島市 商工観光部長	若月 勉	商工観光部次長 西坂邦仁
委員	福島市 建設部長	佐藤 務	路政課長 原田弘之
委員	相馬市 産業部長	渡部 卓	
委員	相馬市 建設部長	神宮 正一	欠席
委員	伊達市 産業部長	菅野 康弘	
委員	伊達市 建設部長	佐藤 博史	
委員	桑折町 産業振興課長	鈴木 日出夫	欠席
委員	桑折町 商工観光推進室長	大内 健矢	
委員	桑折町 まちづくり推進課長	鈴木 清志	
委員	新地町 企画振興課長	泉田 晴平	欠席
委員	新地町 建設課長	岡田 健一	
委員	福島商工会議所 専務理事	石井 浩	
委員	相馬商工会議所 専務理事	和田山 雄康	
委員	桑折町商工会 会長	渋谷 浩一	
委員	伊達市商工会 会長	渡邊 武	欠席
委員	保原町商工会 副会長	渡辺 英人	
委員	飯坂町商工会 会長	高橋 義博	欠席
委員	新地町商工会 副会長	渡部 和志	欠席
委員	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所長	鈴木 永之	福島工事長 宮越信
委員	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき管理事務所長	小林 達也	

国道 115 号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会 規約

(名称)

第 1 条 この懇談会は、国道 115 号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会（以下、「懇談会」という。）と称する。

(目的)

第 2 条 懇談会は、国道 115 号相馬福島道路のストック効果が最大限発揮できるよう、事業の進捗状況に関係者間でこれまで以上に共有すると共に、本道路を最大限に活用するための経済・観光振興等の取り組みについて、関係者が一体となって議論することを目的とする。

(組織)

第 3 条 懇談会は、別表 1 に掲げる機関並びに職にあるものをもって構成する。

- 二 構成機関並びに構成員は、必要に応じ会長が発議し、審議を以って変更できる。
- 三 懇談会は、必要に応じてオブザーバーを置くことができる。
- 四 懇談会は、必要に応じて作業部会を設置することができる。

(役員)

第 4 条 懇談会に次の役員を置く。

- (1) 会長は、東北地方整備局福島河川国道事務所長とする。
- (2) 副会長は、東北地方整備局磐城国道事務所長及び小名浜港湾事務所長とする。

(懇談会)

第 5 条 懇談会は、必要に応じ会長が召集し、国道 115 号相馬福島道路における次の事項について共有・議論を行う。

- (1) 進捗状況等
- (2) 利活用に関する意見および利活用方法
- (3) 地域向けの情報発信方法
- (4) その他、必要な事項に関すること

(事務局)

第 6 条 懇談会の事務局は、東北地方整備局福島河川国道事務所調査第二課・磐城国道事務所調査課・小名浜港湾事務所企画調整課に置くものとし、事務局長は、東北地方整備局福島河川国道事務所副所長（道路）とする。

(雑則)

第7条 本規約に定めるもののほか、懇談会の運営に関して必要な事項は会長が定める。

附則 この規約は、平成27年3月26日から施行する。

国道115号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会 第4回懇談会

国道115号相馬福島道路の進捗状況・整備効果

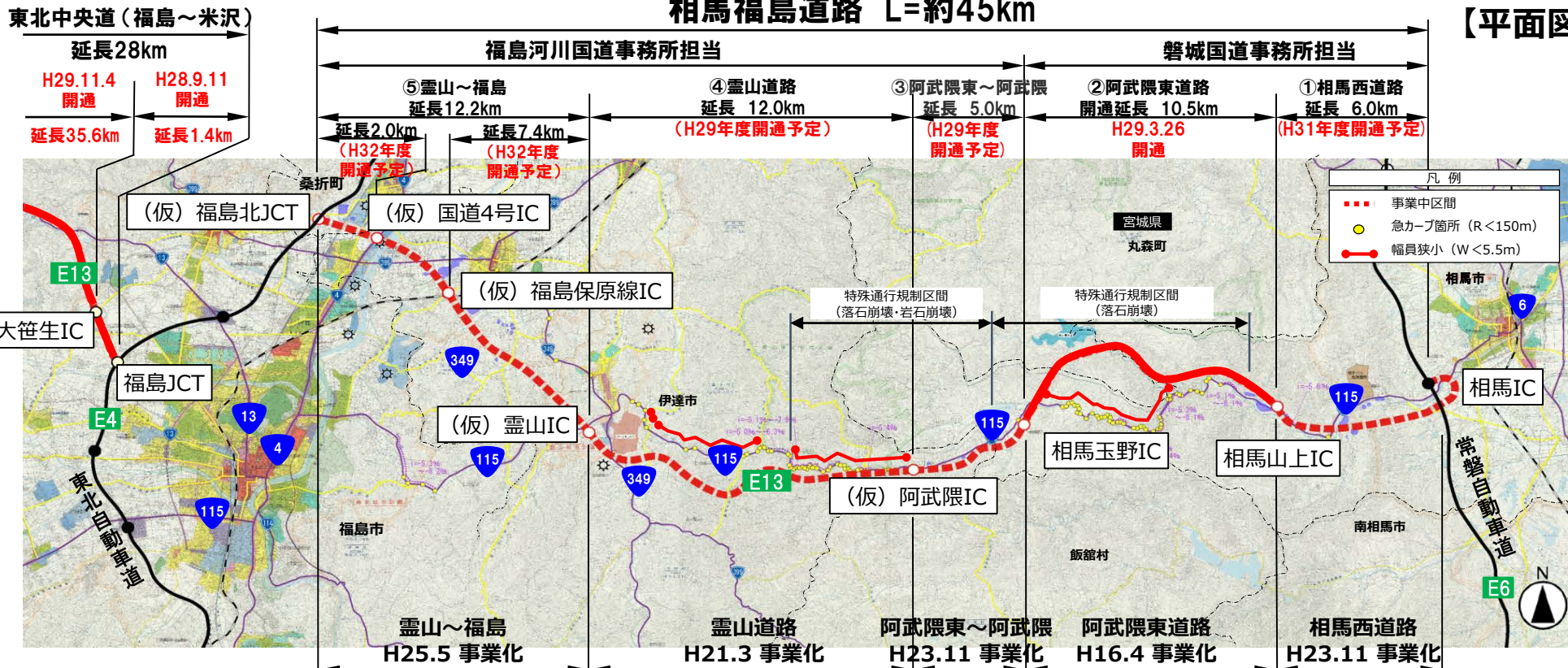
平成30年1月

【復興支援道路】 一般国道115号 相馬福島道路の概要

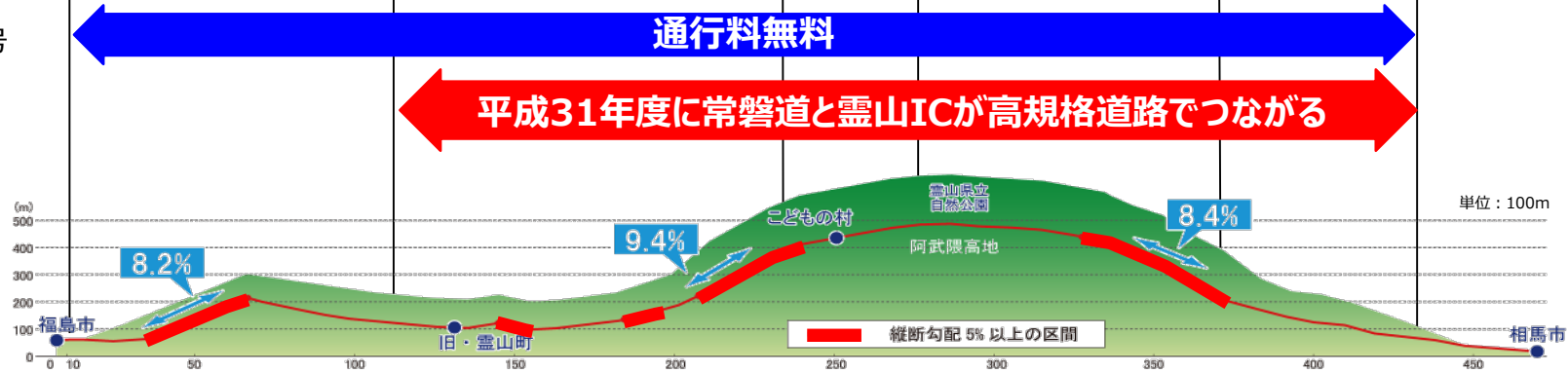
◆相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路 **(無料)** であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。

相馬福島道路 L=約45km

【平面図】



【縦断図】 国道115号



【相馬福島道路】 相馬西道路 進捗状況 (平成29年12月現在)



【事業経緯】
 H23事業着手
 H24用地着手
 H24工事着手
H31開通予定

【事業費】
 全体事業費 350億円
 H29当初 81億円

【進捗状況】
 用地進捗率 約99%
 (H29. 3. 31時点)
 事業進捗率 約65%
 (H29. 3. 31時点)

【H29年度事業内容】
 今田高架橋橋ほか上部工、塩手山トンネル工、山岸地区ほか改良工

通行料 無料



相馬福島道路初の開通 ～阿武隈東道路～

平成29年3月26日（日）、相馬福島道路では初めての開通となる阿武隈東道路（相馬山上 I C～相馬玉野 I C）が開通。



テープカット・くす玉開披



お祝いの餅時き



太鼓演奏



開通式パレード



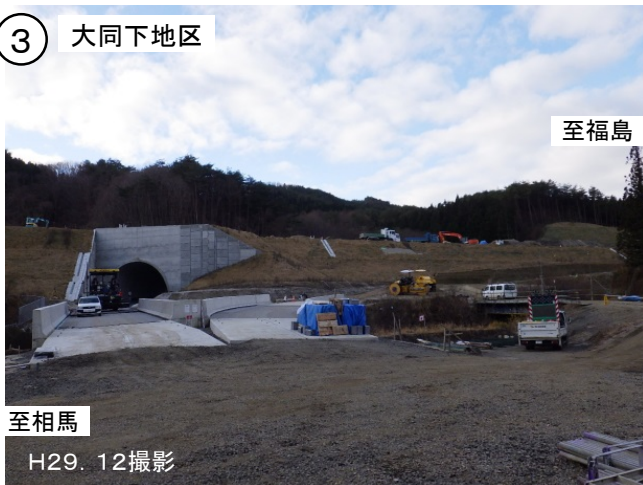
相馬騎馬武者のパレード



法螺貝の合図でパレード開始

【相馬福島道路】 阿武隈東～阿武隈 進捗状況 (平成29年12月現在)

③ 大同下地区



② 石田地区



【事業経緯】

H23事業着手、H24用地着手
H25工事着手、**H29開通予定**

【事業費】

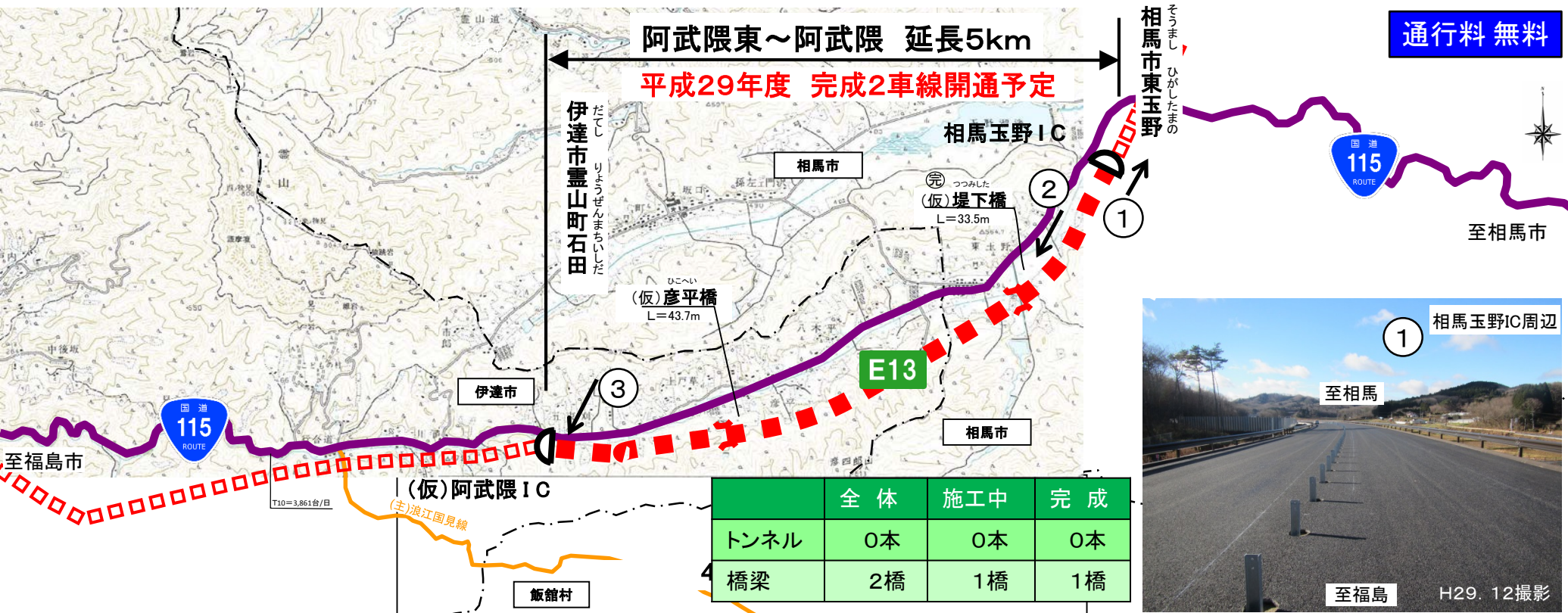
全体事業費 176億円、H29当初 52.06億円

【進捗状況】

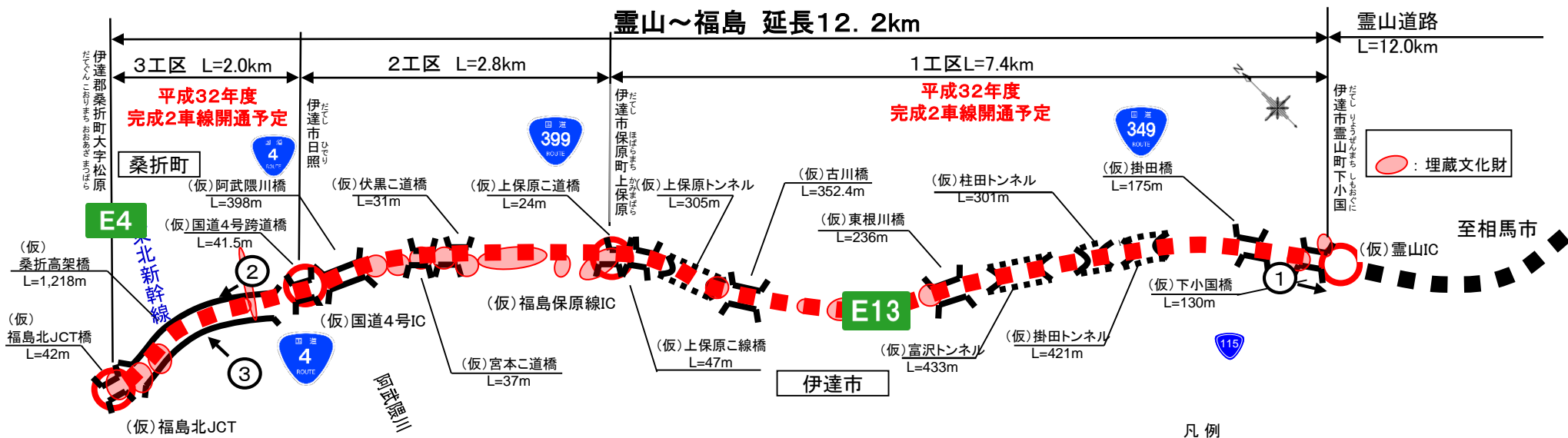
用地進捗率 100% (H29.3末時点)
事業進捗率 約70% (H29.3末時点)

【H29年度事業内容】

改良工事、橋梁工事、舗装工事



【相馬福島道路】 霊山～福島 進捗状況 (平成29年12月現在)



	全体	施工中	完成
トンネル	4本	0本	0本
橋梁	12橋	6橋	0橋

通行料 無料

【事業経緯】	【事業費】	【進捗状況】	【H29年度事業内容】
H25事業着手 H26工事着手 H32一部開通予定(9.4km)	H26用地着手 全体事業費 668億円 H29当初 129.96億円	用地進捗率 約91% (H29.3末時点) 事業進捗率 約29% (H29.3末時点)	・用地買収推進 ・改良工事、橋梁工事

【開通直後】

東北中央自動車道

あぶくまひがし

阿武隈東道路が開通して

(平成29年3月26日開通)

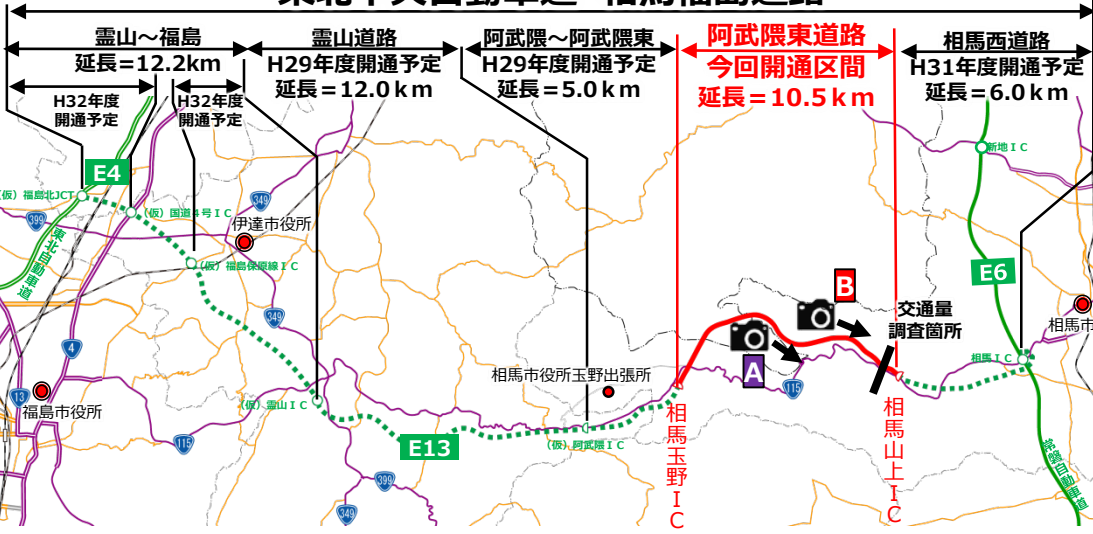
①約3,400台/日が開通区間を利用

並行する国道115号の交通量は約4割に減少

②所要時間が約6分短縮し、

相馬市～福島市間のアクセス性が向上

東北中央自動車道 相馬福島道路



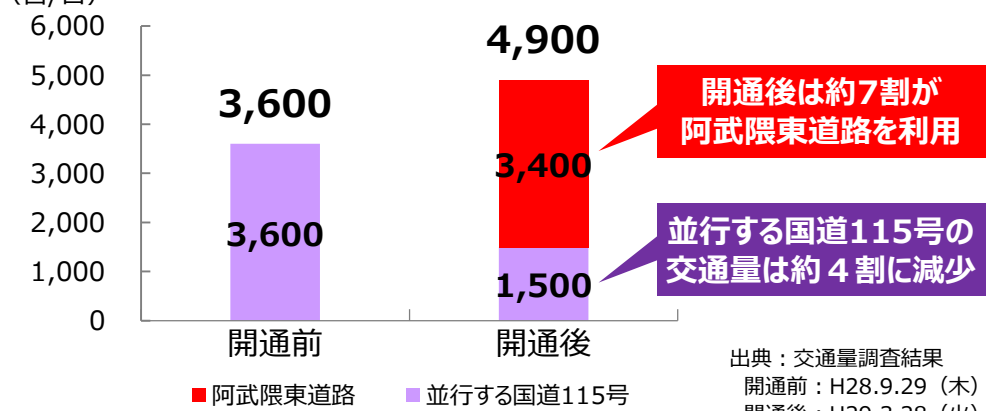
▼並行する国道115号の線形不良区間



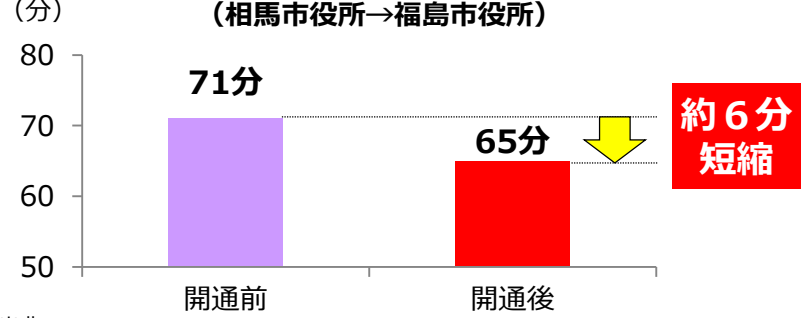
①約3,400台が開通区間を利用
並行する国道115号の交通量は約4割に減少

②所要時間が約6分短縮し、
相馬市～福島市間のアクセス性が向上

▼阿武隈東道路開通前後の交通量の変化



▼阿武隈東道路開通前後の所要時間比較



出典
開通前：民間プローブデータ <H28.4月平日平均 朝7時台>
開通後：実測* <H29.3.28 (火) 朝7時台>
*実測データは阿武隈東道路の区間のみ、その他区間は開通前と同一の所要時間とした

整備効果① 時間短縮・走行性の向上により観光振興に寄与

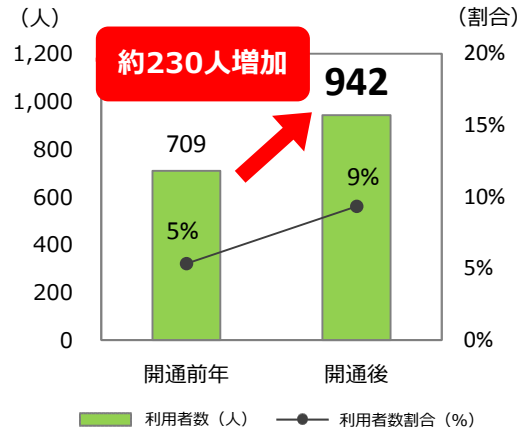
- ◆相馬市の主要観光施設である「相馬光陽パークゴルフ場」「和田観光苺組合」は、市内・近隣地域だけでなく山形県や中通り方面からも利用者が来訪。
- ◆阿武隈東道路開通後、利用者から「到着時間が早まった」、「走行性が良くなった」との声が上がっており、観光施設へのアクセス性向上、利用・売上の増加につながっている。

相馬光陽パークゴルフ場

▼阿武隈東道路開通をPRした大会



▼山形県・福島県内陸部の利用者数推移



和田観光苺組合

▼山形・福島市方面からの和田観光組合アクセスルート



【相馬光陽パークゴルフ場管理・運営者の声】

- 遠方にお住まいの利用者へのPRとして、**道路開通記念を冠したタイトルの大会を実施**しています。
- 阿武隈東道路の開通記念として開催した大会では、**山形県や中通り・会津方面の参加者から「到着時間が早まった」「走行性が良くなった」との声があがっています。**
- 相馬福島道路の延伸により、内陸方面からのお客様が施設を利用しやすくなることを期待しています。

(H29.6月相馬光陽パークゴルフ場ヒアリング調査)

【和田観光苺組合 運営者の声】

- 山形県・中通り方面のお客様を筆頭にご来園されており、お土産を販売している直売所の売上が増加傾向にあり、南相馬市や相馬市の方からも多くご利用いただいています。
- 阿武隈東道路の開通により、お客様から**「移動時間が短くなった」「中央分離帯があり安心して走行して来れた」との声があがっています。**
- 苺狩りは1~5月がシーズンのため、特に冬の降雪日には通常より来園される方が少ない傾向にあります。**阿武隈東道路の開通により、翌シーズンの冬期をはじめとしてより多くのお客様にご来園いただけることを期待しています。**
- H30年には相馬市で海水浴が再開される予定です。また、海苔、水産加品といった海産物の出荷が増えてくれば、浜も一体となって市内の観光連携を活性化できると期待しています。

(H29.6月和田観光苺組合ヒアリング調査)

整備効果② 救急搬送中の走行安定性の確保

- ◆阿武隈東道路の開通から約2ヶ月間で13件の救急搬送に阿武隈東道路を利用。
- ◆阿武隈東道路の開通により、線形不良区間等で特に高い横揺れが生じていた箇所を回避し、走行安定性が確保されたことで、患者や医療スタッフの負担が軽減している。

▼国道115号の左右急加速度発生箇所

- 左右加速度±0.15G以上
- 左右加速度±0.20G以上

開通後2ヶ月内で
13件の救急搬送実績

阿武隈東道路
(H29.3.26開通)



福島県立医科
大学病院

阿武隈東道路の
並行区間では、
左右の加速度が高く
横揺れが頻発

【公立相馬総合病院の声】

- 開通2ヶ月間で阿武隈東道路を2件の救急搬送で使用しました。
- 福島市内から応援に来ていた医師9名の通勤に利用され、道幅が広くなり安全に走行でき、運転の負担が減ったと意見がありました。また、冬の運転においても、負担軽減が期待されています。
- 今後さらに開通区間が延びると救命率の向上が期待されます。
(H29.6月公立相馬総合病院ヒアリング調査)

【±0.20G】
患部の痛みなどの影響

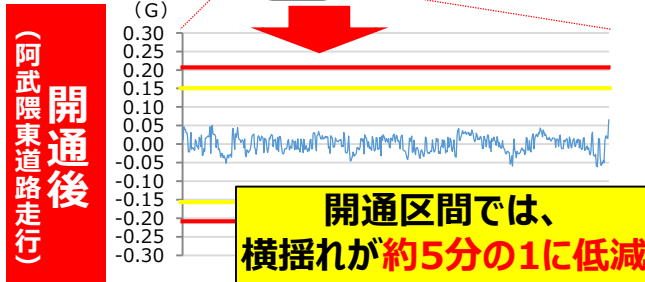
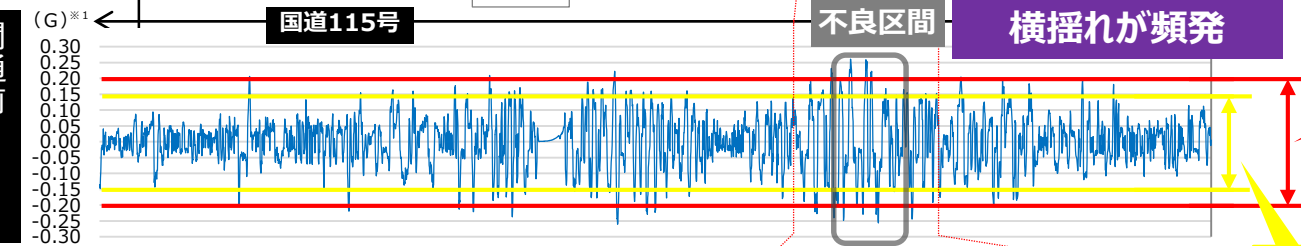


【±0.15G】
患者の安静度に影響

開通区間では、
横揺れが約5分の1に低減

【相馬地方広域消防本部の声】

- 阿武隈東道路の開通2ヶ月間で、11件の救急搬送時に走行しました。
- 急カーブ、急な坂道が無くなり、患者や医療スタッフの負担が軽減しました。
(H29.6月相馬地方広域消防本部ヒアリング調査)



▲阿武隈東道路を走行する救急車両

▲国道115号の左右加速度の発生状況

※単位(G)とは、加速度の単位で、重力加速度を1.0Gと表した単位である。すなわち、1.0G=9.80665m/s²である。
 ※左右加速度±0.15G以上の揺れ:最高血圧の変動量が10mmHgを超過する傾向が強く、患者の安静度に影響を与える(田中誠柳,滝沢潤一,藤井憲英,地域の医療を支援する道路構造分析・評価:第27回日本道路会議)
 ※左右加速度±0.20G以上の揺れ:不快感や嘔吐、骨折などの場合は揺れによる幹部の痛みなどの影響(小野貴彦,広島市立大学大学院情報科学研究システム工学専攻,知的制御システム救急車用アクティブ制御ベッド)

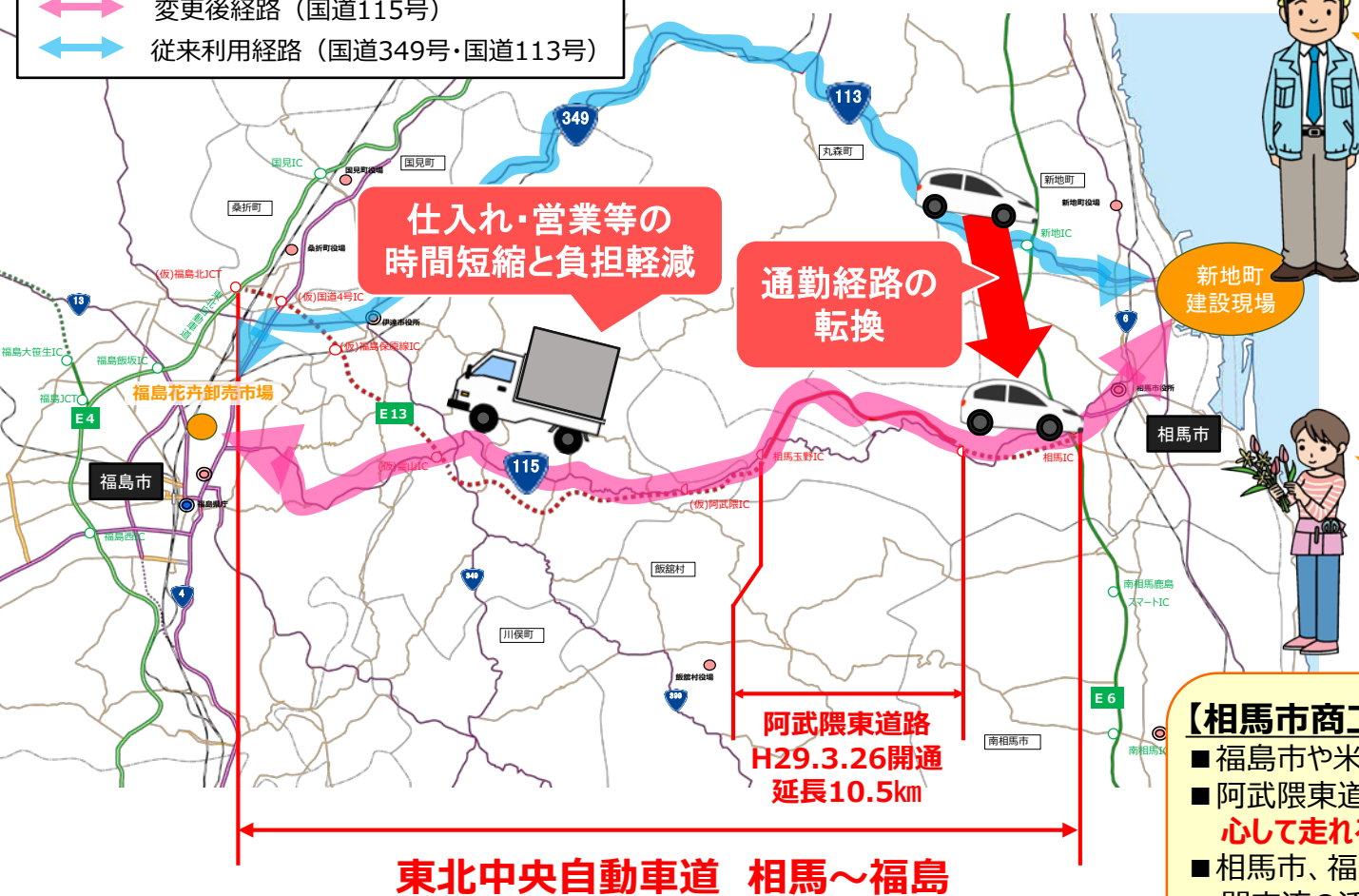
開通前: 救急車プローブ調査結果H28.8.22の救急搬送時
 開通後: 一般車プローブ調査結果H29.6.16

整備効果③ 阿武隈東道路開通による道路利用の潜在的な変化

- ◆ 相馬市・新地町と福島市の通勤や営業等に多くの利用者が阿武隈東道路を利用。
- ◆ 阿武隈東道路の開通後、従来の通勤経路を見直し、国道115号に通勤経路を転換する人が現れている。
- ◆ 安全・安心に走行できることで利用者の精神的・肉体的負担軽減に繋がっており、今後の開通が期待されている。

【凡例】

- ↔ 変更後経路（国道115号）
- ↔ 従来利用経路（国道349号・国道113号）



【福島市 建設業者の声】

- 新地町の現場に約150人の従業員が働いています。作業工程で人数の変動はありますが、そのうち50～80人程度は福島市内より通勤しています。
- 阿武隈東道路の開通後、**通勤経路を国道349号、国道113号から国道115号に変更**する従業員も現れています。
- 安全・安心に走行でき、精神的・肉体的負担軽減に繋がっています。

【相馬市内花屋経営者の声】

- 週2回、福島市内の花卉卸売市場からの仕入れの際、阿武隈東道路を利用しています。
- **到着時間が短縮し、運転の負荷も減りました。**

【相馬市商工会議所の声】

- 福島市や米沢市での会議で週2～3回利用しています。
- 阿武隈東道路の開通で**到着時間が読めるようになり、安心して走れるようになりました。**
- 相馬市、福島市、米沢市の商業部会で相互に連携して民間交流の活性化を図る取り組みを行っています。一日も早い全線開通を望みます。

国道115号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会

連携施策の取り組み事例紹介

平成30年1月

●東北中央道の開通を控え、交流人口の促進を図るために3市商工会議所の連携を強化 ・相馬・福島・米沢の商工会議所では、会報誌で3地域のイベント等の相互PRするコーナーを開設

相馬・米沢広域観光情報

通行料無料！▶【東北中央自動車道がつなぐ】

相馬桜まつり



4月16日(日)まで18:00~23:00(ライトアップ)
相馬中村城跡 馬陵公園
春といえば桜。今年も相馬に春の訪れを告げる相馬桜まつりを開催中！
県内でも桜の名所として有名な相馬中村城跡の桜を皆さんにより楽しんでもらおうと、相馬桜まつり実行委員会(構成団体：相馬商工会議所、相馬市観光協会)が毎年実施しております。
中村神社と相馬神社への参道にポンボリを約190本設置。ソメイヨシノや赤橋・黒橋をライトアップし、ポンボリにも明かりが灯ります。開催は4月16日まで。ぜひ、ご家族や友人と相馬の桜を見に、おでかけください。

【お問い合わせ】
相馬桜まつり実行委員会 ☎0244-35-3300

幻想と興奮 現代に蘇る“上杉絵巻” 米沢上杉まつり

- 4月29日(祝) 開幕祭(伝国の杜周辺)
オープニングセレモニー・上杉神社例大祭・ステージイベント/民謡流し(米沢新調・花笠音頭の交互パレード)
- 4月30日(日)・5月1日(月)
武将隊と上杉太鼓“魂の響演”
やまがた愛の武将隊による演舞と米沢民謡一家による太鼓演奏
- 5月2日(火)
武禰式(謙信公出陣の儀式)(松川河川敷)
上杉謙信公が合戦前に必ず行ったという、軍の守護神を招く必勝祈願の儀式を再現。
- 5月3日(水)
上杉行列(市街地一円)
米沢市内の目抜き通りを威風堂々たる上杉軍団の甲冑武者と絢爛豪華なみこし渡御が練り歩川中島へいざ出陣!!
川中島合戦(松川河川敷)
戦国史上最大の死闘といわれた上杉・武田永祿四年秋の川中島合戦。上杉謙信と武田勝頼打ちを再現。

【お問い合わせ】
米沢上杉まつり実行委員会
☎0238-22-9607



【相馬商工会議所】会報誌 ▶ 平成29年4月号より

東北中央自動車道がつなぐ

福島・相馬 広域観光PR

福島・相馬・米沢の商工会議所は、3市の地域発展を目的に昭和57年より「福島・相馬・米沢地域経済開発懇談会」として活動を続けています。特に、平成29年度に供用開始される「東北中央自動車道」が3市にとって不可欠な高速道路であることから、その早期完成と重要性を強く働きかけています。このたび、3商工会議所では交流人口の促進を目的に会報誌での相互PRを行うことになりました。

福島 信夫三山眺まり
(しのぶさんなんざあつきまわり)
福島市のシンボル信夫山に鎮座する羽黒神社の例祭で、長さ12m、幅1.4m、重さ2tの日本一の大わらじを約100人で担ぎ上げ、福島駅前など市内目抜き通りを練り歩いた後、奉納して健脚と無病息災を祈るお祭りです。大わらじを是非ご覧ください。

■開催日 2/10(金)・11(土・祝)
10日午前9時大わらじ出発～午後3時大わらじ奉納(羽黒神社)

■交通
・電車：JR福島駅下車→福島交通バス市内循環「ももりん」2コース→福島テレビ下車→徒歩30分(羽黒神社まで)
・車：福島飯坂ICから15分(臨時駐車場まで)臨時駐車場から徒歩40分

【お問い合わせ】
信夫三山奉賛会
(福島市商業労働課内)
TEL. 024-525-3720



相馬 いちご狩りOPEN
(相馬市和田観光いちご園)

1月15日(日)いちごの日から相馬市のいちご狩りがスタートしました。水耕栽培のヤシガラもおちつき、昨年度よりもまた一段と美味しくなりました。5月末日まで無休でやっているですので、ぜひお越しください。

■入園料
1/15~3/31 大人1,500円(小学生未満半額)
4/1~5/7 大人1,200円(小学生未満半額)
5/8~5/31 大人900円(小学生未満半額)
※30分食べ放題

■直売所の隣にはバーベキューハウスがあります。
一人前1,200円より(最低4名様より前日までに要予約)予算に合わせて柔軟に対応します。
(11:00~16:00)

【お問い合わせ】
和田観光母組合
TEL. 0244-36-5535
(10:00~16:00)



【東北中央自動車道】福島・米沢広域観光PR

福島・米沢・相馬の商工会議所は、3市の地域発展を目的に昭和57年より「福島・相馬・米沢地域経済開発懇談会」として活動を続けています。特に、平成29年度に供用開始される「東北中央自動車道」が3市にとって不可欠な高速道路であることから、その早期完成と重要性を強く働きかけています。3商工会議所では交流人口の促進を目的に会報誌での相互PRを継続して行うこととしております。

春のランチで食うボン(クーポン)

パンフレットのクーポンを持参すると、69店舗の参加飲食店で通常1,000円以上のランチが1,000円(税込)で食べられます。各店自慢の期間限定スペシャルランチをお召し上がりください。



幻想と興奮 現代に蘇る“上杉絵巻” 米沢上杉まつり

米沢に春の訪れを告げる「米沢上杉まつり」が今年4月29日~5月3日まで盛大に開催されます。

- 【主な見どころ】
■4月29日(土)
開幕祭(伝国の杜前広場)
オープニングセレモニー・上杉神社例大祭・ステージイベント/民謡流し(米沢新調・花笠音頭の交互パレード)
- 4月30日(日)・5月1日(月)
武将隊と上杉太鼓“魂の響演”(伝国の杜前広場)
やまがた愛の武将隊による演舞と米沢民謡一家による太鼓演奏

■5月2日(火)
武禰式(謙信公出陣の儀式)(松川河川敷)
上杉謙信公が合戦前に必ず行ったという、軍の守護神を招く必勝祈願の儀式を再現。

■5月3日(水)
上杉行列(市街地一円)
米沢市内の目抜き通りを威風堂々たる上杉軍団行列の甲冑武者と、絢爛豪華なみこし渡御が練り歩きます。川中島へいざ出陣!!

川中島合戦(松川河川敷)
戦国史上最大の死闘といわれた上杉・武田の激突、川中島合戦を再現。

【お問い合わせ】
米沢上杉まつり実行委員会
TEL: 0238-22-9607



▲【福島商工会議所】会報誌 平成29年4月号より

◀【米沢商工会議所】会報誌 平成29年2月号より

東北中央自動車道 福島大笹生IC ~米沢北IC(無料区間)平成29年度開

「東北中央自動車道 福島大笹生IC ~米沢北IC」は、平成29年度に開通が予定されています。特に、同IC間区間として通行で、人・モノ・サービスなどの流れが大きく変化することが予想されます。同道が開通する~米沢間の所要時間が40分から20分に短縮され、さらに国道13号の最高標高より190mも低い位置を通りながら、より安全に安心して通れる道路になります。

- 東北中央道沿線を含む広域での観光パンフレットを作成・発行
 - ・ 中通り地方での協議会として中通り29市町村の観光ガイドブック
 - ・ ふくしま観光圏（福島市・相馬市・二本松市・伊達市）の観光ガイドブック
 - ・ 福島県北部（福島市・伊達市・国見町・桑折町・川俣町）での英語の観光パンフ 等

中通りエリア対象

～色とりどり、よりどりみどり～
花街道MAP

〈中通り(なかどおり)エリアとは〉
福島県中部の南側に広がる(4つの)エリアを総称して「中通り」と呼ばれてお
このエリアで数多くの花々が咲くことから、「花街道」と名づけられました。
春から夏にかけて咲き誇るたくさんの花々や、
秋には絶園のように染まる雄大な自然とそれぞれのエリアの個性を
思う存分お楽しみください！

ふくしま

福島市 相馬市 二本松市 伊達市

ふくしま観光圏4市対象

http://www.f-kankouken.com/

▲【福島市観光コンベンション協会】
ふくしま観光圏ガイドマップより

▲【うつくしま奥の細道「花・街・道」観光キャンペーン推進協議会】
福島県のなかどおり旅（中通りエリアガイドマップ）より

Northern FUKUSHIMA Area MAP

福島県北エリア対象

Momofuku Peach Rice Cakes
Dorayaki rice cakes are already eaten, but they're made in peach shape to make them even cuter! If the sweet filling oozes, that's their charm in a good way! The soft cream and white bean paste match perfectly with the peach scent. (126 per pack)
Tactical Mail Kaku (Individuals) Confirmed Order
Phone: 024-562-3186
Address: 1-2-10 Nakama, Fuchu, Saitama Prefecture
Open: 09:00 - 19:00 (Closed: Wednesdays)

KUNIMI Jam & Juice
Special jams made from Kuniomi's local fruit and vegetables, and fruit. Although the sweet jams made as if squeezed from just picked fruits, both are true to their ingredients. For a flavor that you'll definitely want more of.
Kuniomi City Office
Phone: 024-562-2122 (Kuniomi Urban Development Office)
Address: 1-7-1 Nakama, Fuchu, Saitama Prefecture
Open: 09:30 - 17:00 (Closed: Saturdays, Sundays and Public Holidays)

Seasonal Dorayaki (Jam-filled Spring Cakes)
Usually, Japanese Dorayaki spring cakes are filled with a sweet red bean paste, but if you're they're traditional into something about the seasons eaten with their seasonal fruit variations, like strawberry in spring, or grape in autumn! (125 per each)
Tateya Pastry Shop
Phone: 024-544-3926
Address: 16-10 Nishibashi, Maibara, Fukushima Prefecture
Open: 09:00 - 18:00 (Cafe: 9:00 - 15:00) (Closed: Wednesdays)

Anjo Gaki (Persimmon)
With its soft texture, intense persimmon aroma and rich, sweet flavor, the Anjo Gaki has a long history of being a favorite dessert in the Japanese countryside. It made using the soft variety variety, so you will definitely enjoy it during the winter. This variety, 1700 year history, has the subject of change depending on time of purchase.
Hiroe Hyokusan / Hiyokan
Phone: 024-551-2222 Address: 19 Soranashi, Date-shi
Open: 09:00 - 17:00
Closed: 09:00 - 17:00 (Closed: Saturdays, Sundays and Public Holidays)

Atsukashi-san (Japanese Sake)
This "sake" is no ordinary one. It's made from the most delicious rice made in Fukushima, the "Ten no Tsubu" (Oryza of Heaven), and is considered almost a deity. They are released each year in December, but sometimes are limited to be sold to pick one up if you come across a bottle!
Kuniomi City Office
Phone: 024-562-2122 (Kuniomi Urban Development Office)
Address: 1-7-1 Nakama, Fuchu, Saitama Prefecture
Open: 09:30 - 17:00 (Closed: Saturdays, Sundays and Public Holidays)

Abura Pan (Fried Bread)
This soft wheat-flour bread is filled with red bean paste and fruit to create a delicious candy-like layer. As only 152yen each they are very popular and often sell out! Get yours where they are hot!
Kiyohisa Sake Sake Ten Hyokusan Betsuy
Phone: 024-544-3828
Address: 58 Hironashi, Fuyama-machi
Open: 09:00 - 19:00 (Closed: Regularly Wednesdays)

▲FIND RESR RELAXATION
(Northern FUKUSHIMA GUIDE BOOK) より

- 東北中央道で結ばれる福島～相馬間を周遊する旅行商品を開発
 - ・ 福島市のもも狩りと相馬市の相馬野馬追いを組み合わせた旅行商品

平成29年7月29日土～30日日 1泊2日

行程 (====バス)

東京駅丸の内 鍛冶橋駐車場(6:45集合)

1日目 7:00 東京====<東北道>====福島市【昼食(岩代屋敷大王の蕎麦定食)、旧堀切邸、果樹園でのもも狩り(食べ放題)】====相馬市【相馬中村神社*、夕食(たこ八の海鮮定食)】====19:00予定 宿泊先到着(相馬市)
 ※相馬中村神社で出陣式は見学しません。

2日目 9:00 宿泊先出発====相馬市伝承鎮魂祈念館====相馬野馬追見学(甲冑競馬、神旗争奪戦、昼食はお弁当)====<常磐道>====19:00予定 東京宿泊先 丸三旅館(相馬市尾浜字牛鼻毛33 TEL.0244-38-8113)



▲【福島市観光コンベンション協会】観客席から見る相馬野馬追ともも食べ放題の旅 より

II 【事例紹介：観光】 観光関連の取り組み（福島市関連）③

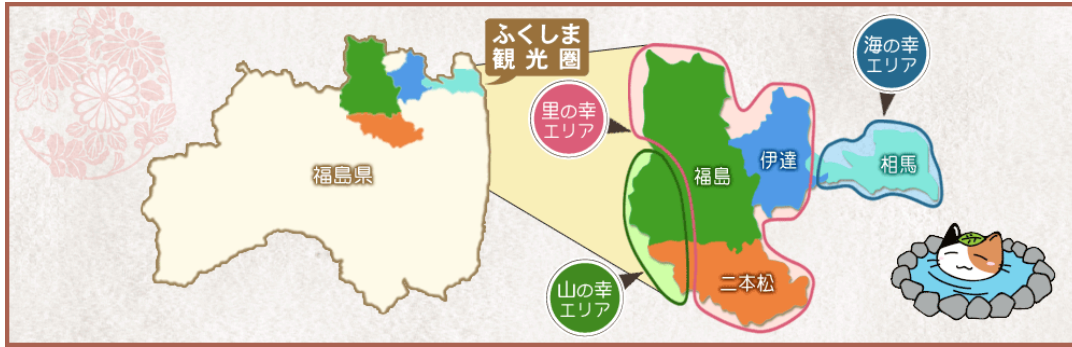
●ふくしま観光圏として4市連携での取り組みを実施

- ・北海道、東京、仙台、横浜で一般客向けに観光プロモーションを実施。
- ・健康志向を受け、モンベルと連携し「山岳観光」に注力。

ふくしま観光圏の概要

ふくしま観光圏は、磐梯朝日国立公園、吾妻・安達太良山系の東側に広がる福島県中通り福島市・二本松市・伊達市の3市と、太平洋沿岸の相馬市の4市で構成。

誰もが旅を楽しむことが出来るよう、観光地におけるバリアフリーも推進。



＜ふくしま観光圏パンフレット 2016春版＞



お・も・も・て・な・し ふくしまももフェスタ

東京駅地下通路に直結する「東京シティアイ」において、“もも”を初めとする観光圏4市の特産品と観光情報を首都圏にPR

＜フェスタの様子＞



モンベルクラブフレンドフェア

今年は仙台、横浜で開催された「モンベルクラブフレンドフェア（※）」に出展し、吾妻山、安達太良山、霊山、松川浦をPR。

＜モンベルクラブフレンドフェアin仙台の様子＞



※モンベルクラブフレンドフェア;モンベルクラブ会員限定のイベント。会員と同伴の家族・友人に限り入場可能。

- 相馬福島道路全線開通を見据え、飯坂温泉等沿線温泉地が連携した誘客を展開
- 「ふくしま観光圏協議会」は広域的な観光振興を目的にサイクリングコースを策定

平成 29 年 11 月 8 日（水） 福島民報（朝刊 20）

道路開通で地域連携

相馬、米沢と誘客図る



県境を越えた連携を誓い合う柳沼会長（手前右）はじめ若旦那プロジェクト実行委員会と相馬市、米沢市の温泉関係者

ふくしま若旦那プロジェクト
実行委員会
（福島市）

県境を越えて連携し、魅力発信に取組む。東北中央自動車道の福島大笹生インターチェンジ（IC）福島市・米沢市間の開通した。福島市の飯坂、土湯、高湯の三温泉地の若手旅館経営者でつくる「ふくしま若旦那プロジェクト」実行委員会と相馬市・松浦観光旅館組合、米沢市の「温泉米沢八湯会」の旅館関係者は連携し、温泉街をはじめ地域にきわむ創出を目指す。

福島市の飯坂温泉旅館協同組合事務所は九月に三地域の関係者による初会合を開いた。以降、意見交換を重ね、開通に合わせて三地域が連携して取り組む誘客企画を始めた。若旦那プロジェクト実行委員会長の柳沼公貴会長（左）は「飯坂温泉・祭屋湯左衛門社長は相馬福島道路の開通も見据え、広域で

県境を越えて連携し、魅力発信に取組む。東北中央自動車道の福島大笹生インターチェンジ（IC）福島市・米沢市間の開通した。福島市の飯坂、土湯、高湯の三温泉地の若手旅館経営者でつくる「ふくしま若旦那プロジェクト」実行委員会と相馬市・松浦観光旅館組合、米沢市の「温泉米沢八湯会」の旅館関係者は連携し、温泉街をはじめ地域にきわむ創出を目指す。

柳沼会長は「若旦那プロジェクトは、若い世代を互いの温泉地に連れていき、各地の魅力の再発見や掘り出しなども行いたい」と将来を見据える。農畜生産者や漁業関係者の連携も探っていく考え。県をまたいだ温泉地の革新的な取り組みは大きな可能性を感じさせる。（飯坂支局長・小松 達）

平成 29 年 12 月 21 日（木） 福島民報（朝刊 7）

福島、相馬、二本松、伊達 自転車コース策定へ

福島、相馬、二本松、伊達
の四市でつくる「ふくしま観光圏協議会」は四市の観光地を巡る自転車用コースを策定し、二〇一九年度内に県内初となるシャパンエコトラック推進協議会（養老孟司代表理事）の認定を目指す。

伊達の四市でつくる「ふくしま観光圏協議会」は四市の観光地を巡る自転車用コースを策定し、二〇一九年度内に県内初となるシャパンエコトラック推進協議会（養老孟司代表理事）の認定を目指す。市までを結ぶ百キロ以上の長距離コースに加え、各市内を巡る短距離コースを想定している。

二十日、福島市議会議会十二月定例会で木幡浩市長が明らかにした。

横の連携を強め、誘客の起爆剤にしたいと意気込む。

三地域の旅館関係者は十月二十五日、米沢市の小野川温泉・河鹿荘で企画の概要を発表した。二泊一県をテーマに、県内の十五施設を含む両県で三十九施設が参加している。宿泊客が共通のハッシュタグを使って会員制交流サイトのSNSの写真を動画を投稿するや、宿泊地以外の温泉地へ入浴引などの特典が受けられる。土俵付共進ランもある。柳沼会長によると、宿泊客の企画内容を説明する上、他の温泉地に行っていないかと好反応を得たという。

国道115号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会 第4回懇談会

会議資料

平成30年1月

I これまでの経緯と議論した内容について

目的・構成メンバー・開催状況と内容	2
検討を進めるべき個別分野	3

II 各分野の活動について

相馬福島道路沿線の「道の駅」の連携推進	5
観光関連の連携推進	9
産業・物流関連の連携推進	10
今後の具体的な連携施策の推進について	12

1. 懇談会の目的

- 国道115号相馬福島道路のストック効果が最大限発揮できるよう、**事業の進捗状況を関係者間でこれまで以上に共有**すると共に、**本道路を最大限に活用するための経済・観光振興等の取り組み**について、**関係者が一体となって議論し、具体的な施策の検討・推進**を図ることを目的とする。

2. 構成メンバー

- ・福島県（建設・商工観光部局）
- ・沿線市町（福島市・相馬市・伊達市・桑折町・新地町） ※建設・産業・商工部局
- ・沿線商工会議所・商工会
- ・国土交通省（福島河内・磐城国道・小名浜港湾）
- ・東日本高速道路株式会社 ※必要に応じてオブザーバーで参画（J A、観光協会、地元企業）

3. これまでの開催状況と内容

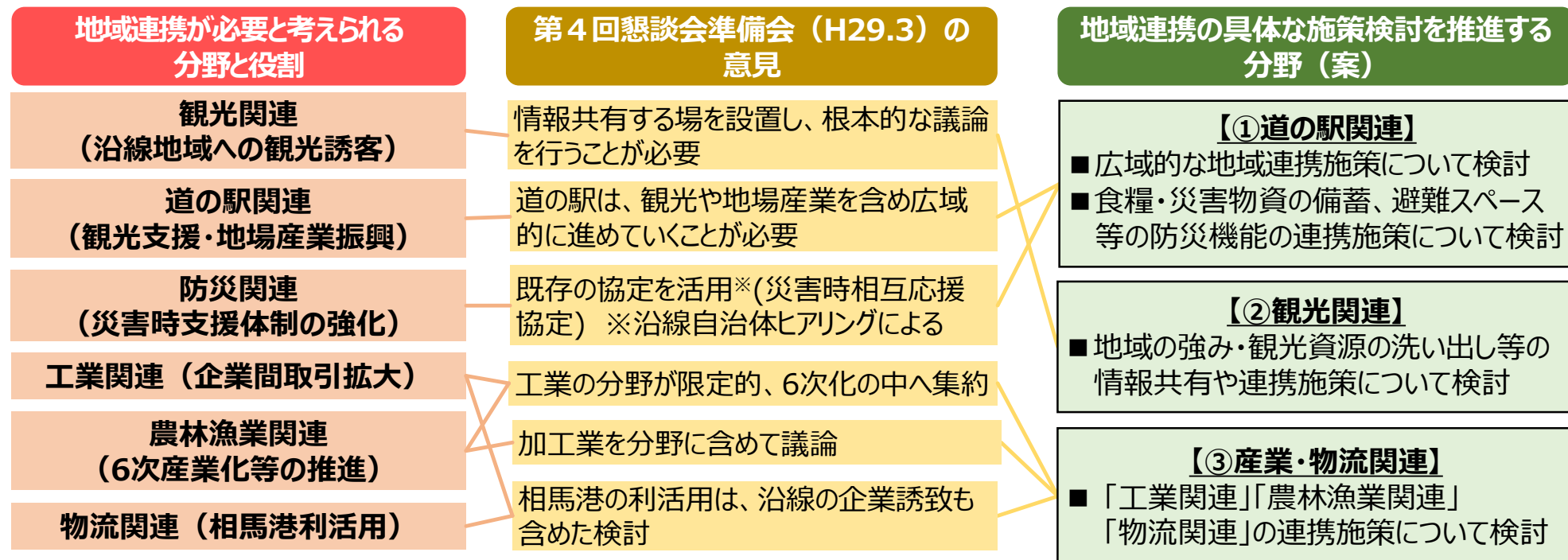
- ・H27年 3月26日：第1回懇談会【各機関の相馬福島道路に対する期待を共有】
- ・H27年 8月24日：第2回懇談会【地元自治体の相馬福島道路の利活用方策を共有】
- ・H27年12月11日：企業の方々による現地視察（相馬港、阿武隈東道路等）
- ・H28年 2月 5日：第3回懇談会【各機関が興味を持った地域連携アクション事例を共有】
- ・H29年 3月28日：懇談会準備会【今後の進め方（案）：分野別に調整することを確認】

論点：個別分野の分類について

■これまでの懇談会では、全国の道路整備を契機とした連携施策事例より、「**観光関連**」「**道の駅関連**」「**防災関連**」「**工業関連**」「**農林漁業関連**」「**物流関連**」の**6分野**に分類し意見交換

➤「第4回懇談会準備会（H29.3）」の意見、分野間の関連性や別組織の活用等を思慮し、6分野を「**観光関連**」「**道の駅関連**」「**産業・物流関連**」の**3分野**に集約、地域連携の具体的な施策の検討及び推進を提案

《今後個別に地域連携施策の検討を推進する分野（案）》



会議	懇談会、準備会における主な意見
<p>第3回 懇談会 【各機関が興味を持った地域連携アクション事例を共有】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「農林水産業」では、6次化等にも取り組んでいるが、農関係だけでの開発・商品化は難しい面もあるため、地域ぐるみで農工商連携の中で、付加価値の高い製品・商品を生み出していきたい。 ➤ 「物流」では、物流形態の変化を注視しながら、相馬港の利用拡大に向けた取り組み、最終的には地域経済の活性化につなげるような施策が必要 ➤ 「観光」では、道路ができて単なる通過点に終わってしまうことも多々あり、地域の宝をいかに見つけて磨き上げて売っていくかということが重要 ➤ 「体制」では、工業から観光（道の駅）まで全て連携することによってアクションを起こせる。また、国や各自治体、関係団体、民間企業などの連携が非常に重要。今後、民間企業等が連携するにあたっての支援なども行いながら地域連携の取り組みを推進し、復興・再生と地方創生を前に進めていく必要
<p>懇談会 準備会 【今後の進め方（案）：分野別に調整することを確認】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「農業林漁業関連」分野では、6次産業化の連携施策として、加工業も「工業関連」分野に含めて議論すべき ➤ 「物流関連」分野では、相馬港の利活用は、沿線企業誘致活動と連携して議論すべき ➤ 「観光関連」分野では、情報共有の場を設置し、根本的な議論を行うことが必要 ➤ 「道の駅関連」分野では、観光支援や地場産業振興からみた連携施策を広域的に進めていくことが必要

II 各分野における今後の進め方（案）について（①道の駅関連の連携推進）

1. 背景・これまでの議論

- 相馬福島道路等の整備に合わせ、**近年、沿線に増加。広域連携、観光の核にしていくべき。**
（H28.11月開催の全国街道交流会議「福島大会」において、「道の駅」を活用した広域観光の推進が提言されている）
- 今年度開通予定の（仮）霊山IC周辺には、休憩機能を有する道の駅「りょうぜん」等が整備予定
- これまで、一対一の連携は実施されているが、**周辺地域の複数の道の駅による今後の連携活動が課題。**

2. 連携施策（案）

●道の駅関連

- テーマ：
 - 相互連携施策（観光情報・特産品） ■共同イベント（社会実験含む）
 - 防災機能連携（備蓄、避難施設等）
- 新たな組織の立ち上げ⇒（仮）相馬福島道路沿線「道の駅」検討会

3. 推進体制イメージ（案）

《（仮）相馬福島道路沿線「道の駅」検討会》

検討会メンバー

既存：相馬、国見、川俣、飯館
 予定：伊達、福島
 事務局：福島河川国道事務所

オブザーバー

【東北中央道沿線の道の駅】
 米沢、高畠
 【沿線の会議所・商工会】
 米沢商工会議所、福島商工会議所
 相馬商工会議所

【沿線道の駅抽出のあたりの定義】高速IC25km圏内の道の駅
 （NEXCO設計要領：パーキングエリアの間隔の最大値）

仙台空港等におけるアプリを活用した外国人向けドライブ支援

レンタカー利用でタブレット貸し出し

訪日客ドライブ アプリ手助け

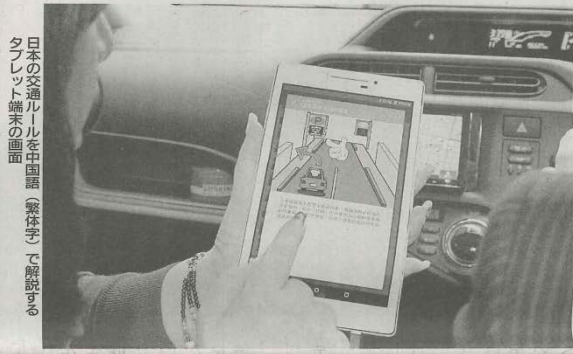
宮城県レンタカー協会（仙台市）とシステム開発の日立ソリューションズ東日本（同）は、6月1日、レンタカーを利用する訪日外国人旅行者を対象にした実証実験を始める。ドライブをサポートする多言語対応タブレット端末を無償で貸し出し、不慣れた環境での運転を手助けする。

宮城県協会など来月実証実験

協会加盟の7社が参加。仙台、アアプリを搭載する。英語、中国空港とJR仙台駅の計13店舗に、語彙体系、韓国語に対応し、左タレット計23台を用意し、側通行などの交通ルール、道路標識の意味、事故発生時の対応をイラストなどで説明。外国人が戸惑いやすいガソリンスタンド、高速道路、時間貸し駐車場

ルール・マナー 動画解説

の利用方法は動画で解説する。東北6県と新潟県の約320カ所の観光地情報も収録。位置情報を数字で示す「マップコード」を行って、カーナビで簡単に行き先を指示できるようにした。実証実験は7月上旬まで実施し、利用者へのアンケートなどでサービスの有効性を検証する。その後、対象エリアを東北6県に広げ、11月まで第2弾の実証実験を展開する計画。



日本の交通ルールを中国語（繁体字）で解説するタブレット端末の画面

道の駅特典も盛り込まれた「トヨタレンタカー」と「じゃらん」が連携した「南東北キャンペーン」が平成21年に実施

トヨタレンタカー×じゃらん 南東北キャンペーン

トヨタレンタカー×じゃらん
南東北キャンペーン
実施中
2009年6月1日(日) - 7月31日(金) ご出発

トヨタレンタカー-宮城
トヨタレンタカー-福島
トヨタレンタカー-山形
トヨタレンタカー-仙台
トヨタレンタカー-新潟

トヨタレンタカーを選ぶとお得がいっぱい
乗用系全車にナビ・ETCを標準装備!

キャンペーン1 ガソリン代キャッシュバック

期間中、トヨタレンタカーを利用するとガソリン代1リットルにつき20円をキャッシュバック。
※返却当日にガソリンスタンド発行の給油領収書で計算、満タン給油1回分（最大70リッターまで）を上限とします。

応募＆利用条件

※キャンペーン1は現金またはクレジットカード、2はクレジットカードでのお支払いに限ります。
※同一店舗発着限定。他店舗への乗捨て不可。
※ご出発時に、各店舗のスタッフにQRコードから表示された画面、あるいは下のクーポンを出力したものの、いずれかをご出発時に提示ください。



お得なクーポンはこちら

今すぐ予約!

キャンペーン2 ETCカード無料貸し出し

ETCカードをお持ちでない方にETCカードを無料で貸し出します。ETCのご利用料金は、返却時にご精算ください。

※貸渡できる店舗、カード枚数に限りがあるため、事前のご予約・お問い合わせを。クレジットカードのお支払い・同一店舗での発着限定。

お得情報

Web予約すると5%OFF、
提携クレジットカード支払いで5%OFF。
合わせてレンタカー料金が10%OFFに!

インターネットで車名指定なしで予約いただくと、5%OFF。提携クレジットカード割引と併用すれば、さらにお得な合計10%OFF!! (P1・W1・T1を除く)。南東北キャンペーンでは、上記割引制度も併せてご利用いただけます。

キャンペーン3 抽選で各県の特産物をプレゼント

トヨタレンタカーご利用者の中から抽選で30名様に、宮城・山形・福島3県の特産物（3000円相当）をプレゼントいたします。南東北をドライブしたあなたへのお土産です。※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます

キャンペーン4 「道の駅」でさまざまな特典も

宮城県内6軒、山形県内8軒、福島県内8軒、合計22軒の「道の駅」でQRコードから表示された画面、あるいは左のクーポンを出力したものの、いずれかを提示すると、ソフトドリンクや料金割引などの特典を受けられます。

▶「道の駅」の詳細はコチラ

【メンバー案】 沿線立地の道の駅及び関連自治体を想定。

- ◆道の駅 : そうま、までい館、川俣、りょうぜん、国見、大笹生IC周辺
- ◆行政 : 福島市、相馬市、伊達市、飯館村、川俣町、国見町
- ◆オブザーバー : 米沢商工会議所、福島商工会議所、相馬商工会議所、道の駅「米沢」「たかはた」

※早期開催に向けて今後調整を予定

【検討内容案】

主な意見交換の内容

■ 現状の相互連携実施状況の確認

- ・観光情報
- ・特産品扱い
- ・イベント 等

■ 道の駅を活かした連携施策

- ・各道の駅の差別化とエリア内の周遊を促す情報発信
 - 個性の打ち出し方で何を重視するか？
 - 特に情報発信したい観光資源は？
- ・エリア全体を回遊してもらうための特典 等

■ 相互連携推進上の課題

- ・各地域の強み等の情報共有、相馬福島道路全線開通を見据えた検討体制（エリア拡大） 等



相馬福島道路の開通を機に、沿線市町村が道の駅を活かした連携施策の実践により地域活性化を推進

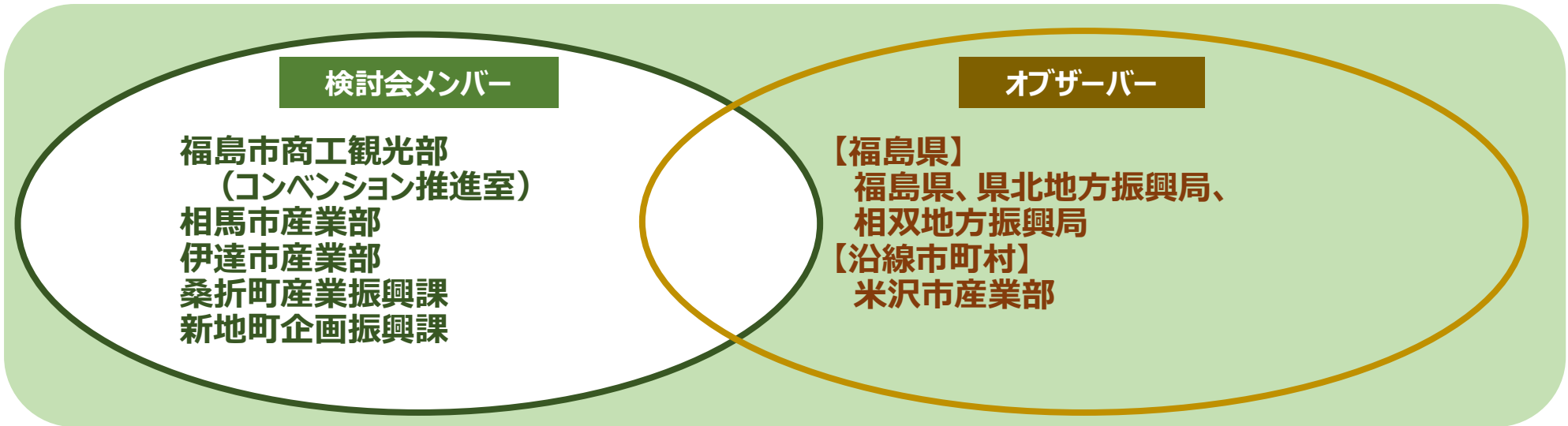
1. 背景・これまでの議論

- ・沿線地域には、多様な観光施設が立地しており、フルーツ狩り、パークゴルフ場、温泉施設、文化施設など共通する**観光資源も多くみられるが、沿線地域間の観光流動は少ない。**
- ・一つの観光エリアとして、**沿線地域の魅力を集約し、主要都市や周辺大規模観光地から誘客するための施策が必要。**

2. 連携施策（案）

- 観光関連
 - テーマ： ■ 観光資源洗い出し ■ 観光PR手法 ■ 観光プロモーション活動 ■ 観光商品開発 ■ その他観光誘客施策

3. 推進体制イメージ（案）



II 各分野における今後の進め方（案）について（③産業・物流関連の連携推進）

1. 背景・これまでの議論

- ・全国シェアや東京市場における**取扱量シェアの高い農産品（もも、りんご、きゅうり等）が豊富。**
- ・**県北地域、相双地域各々で、農林漁業者や流通・加工業者等の出会いの場となる6次化交流会を実施。**
- ・**相馬港の取扱貨物量は5百万トン/年程度で伸び悩み。**
- ・**沿線には情報通信機械器具製造業が多数立地しているものの、沿線地域間の取引は少ない状況。**

2. 連携方策（案）

● 産業・物流関連（相馬港活用含む）

○ テーマ： ■ 特産物等のPR手法 ■ 相馬港利活用方策（企業誘致など）

■ 相馬福島道路等の周辺地域活性化に向けた活動（講演会・フォーラム開催等）

○ 既存組織の活用⇒福島相馬米沢地域経済開発懇談会における検討体制の充実・拡大
福島県相馬港利用促進協議会における検討体制の充実・拡大

3. 推進検討イメージ（案）

《（仮）広域連携検討会（地域経済の交流推進）》

会議メンバー

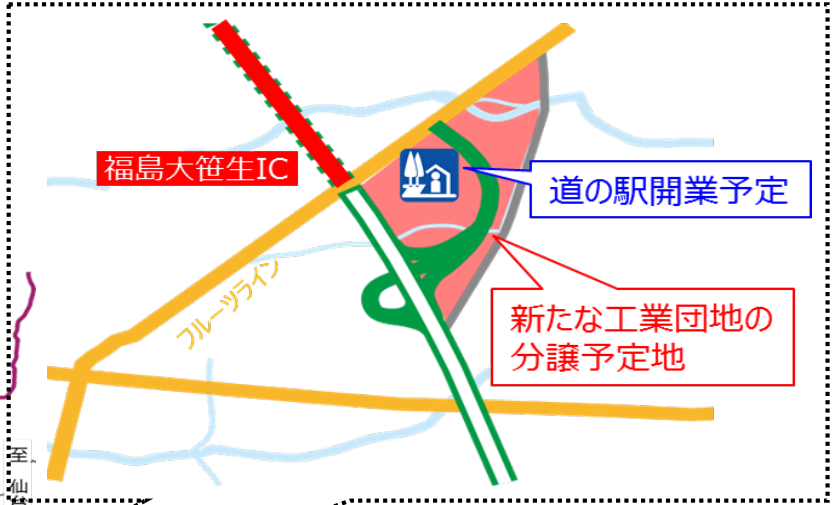
福島商工会議所、相馬商工会議所
二本松商工会議所
【沿線の商工会】
伊達郡商工会（桑折・国見・川俣）
伊達市商工会（伊達市）
福島市商工会（飯坂・松川・飯野）

オブザーバー

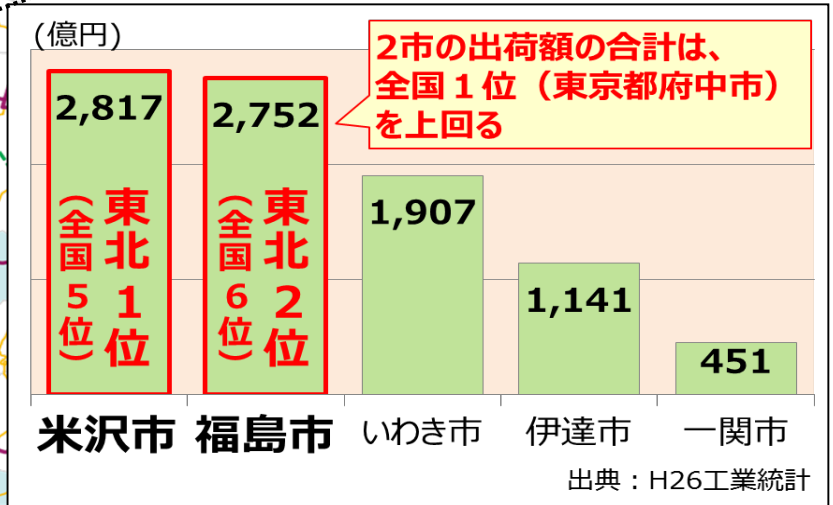
【福島県】
福島県、県北・相双地方振興局
【国交省】
福島河川国道、磐城国道
【沿線市町村】
米沢市、高畠町
【沿線の会議所・商工会】
米沢商工会議所
相馬広域連携協議会
（新地・鹿島・小高・飯舘）

【参考】福島、米沢両地域の経済発展に寄与

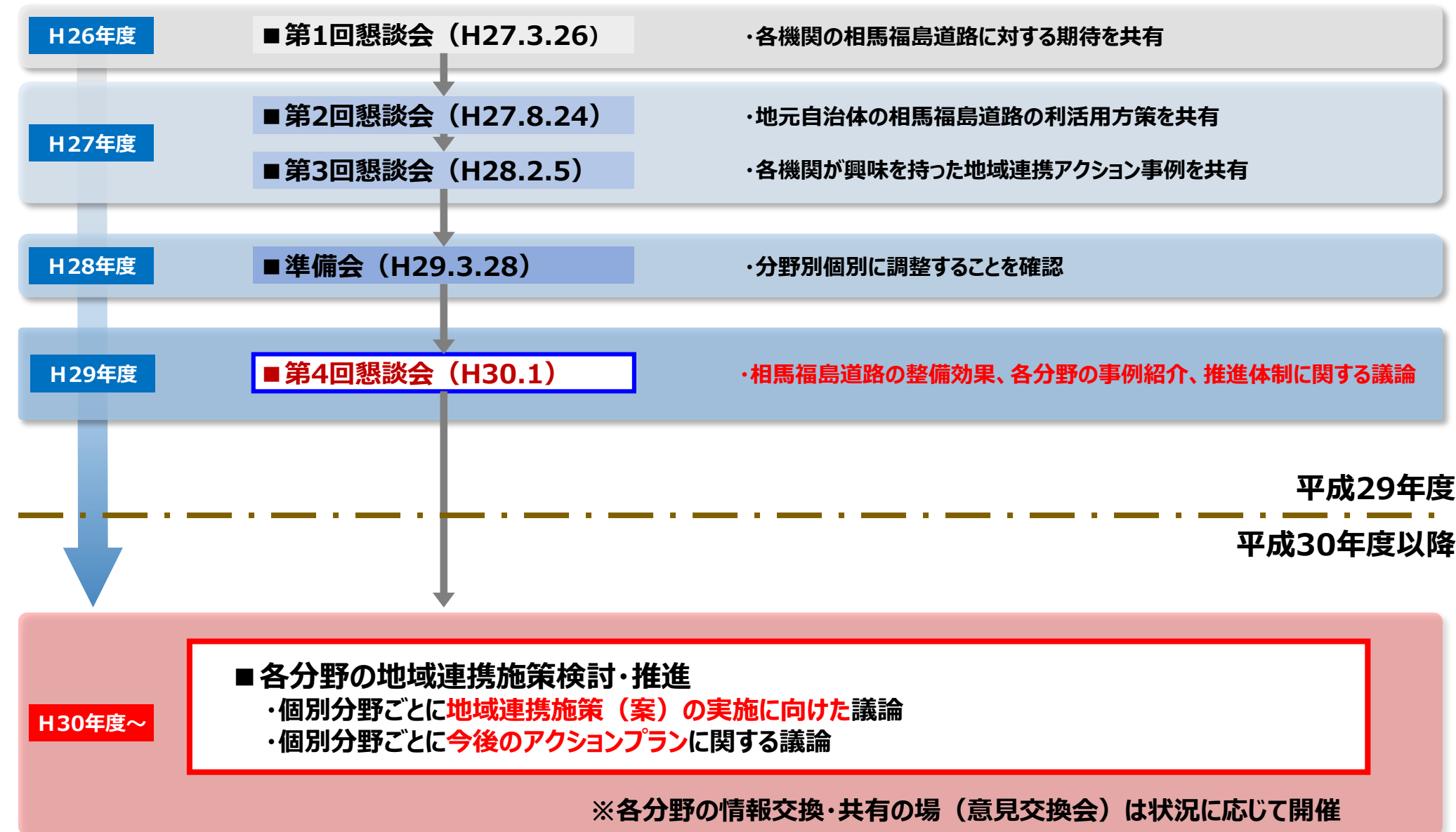
- 福島市・米沢市はハイテク産業が集積する東北有数の工業都市
- 東北中央自動車道の開通により、両地域の連携が密になり、更なる経済発展に期待



▼情報通信機器出荷額の東北上位5都市

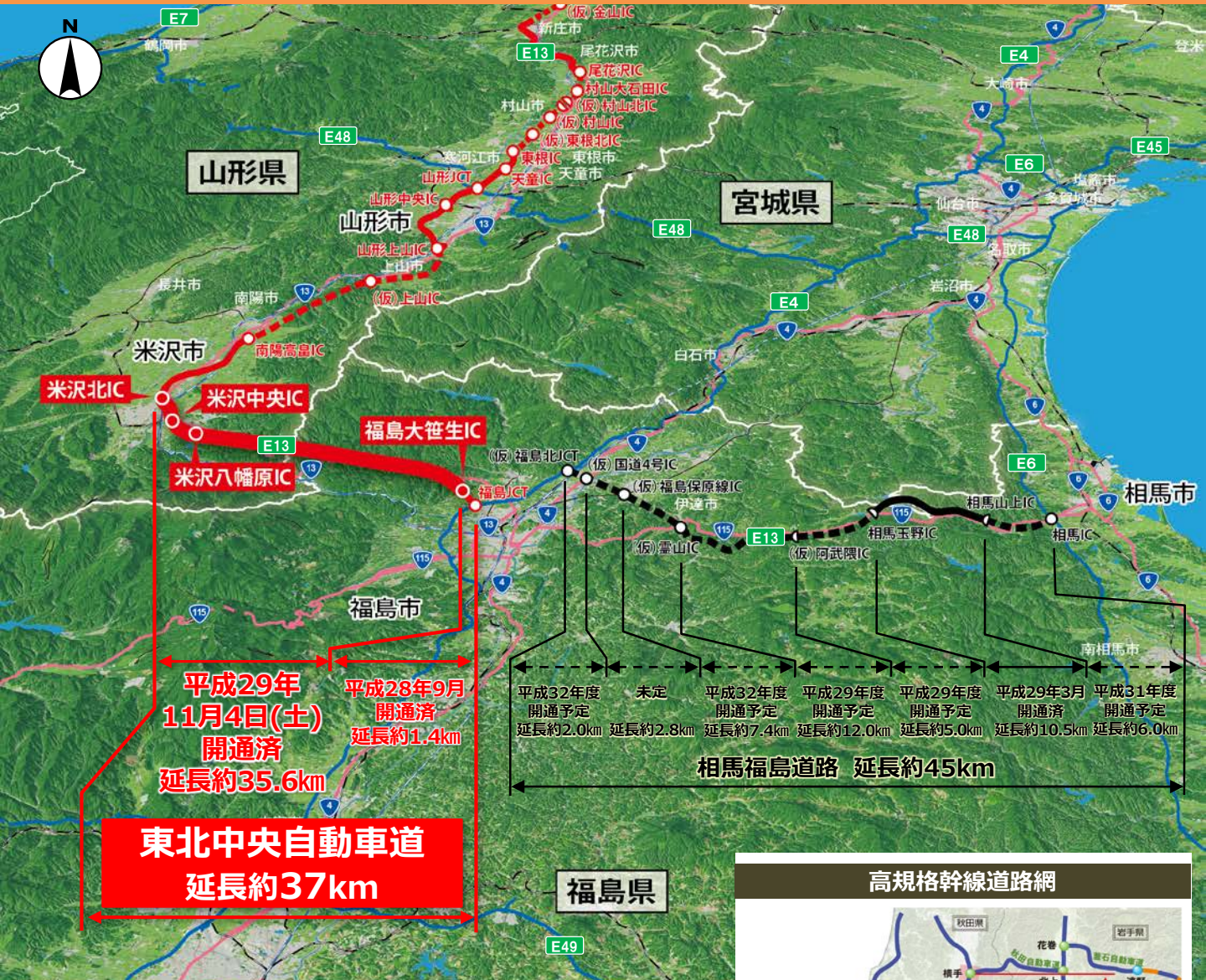


■スケジュール（案）



既存組織名称	組織の目的	現在の活動状況
<p>福島市相馬市二本松市伊達市 観光圏協議会 (福島市、相馬市、二本松市、伊達市、4市の観光関連団体、商工関連団体、交通関連企業・団体等の代表)</p>	<p>観光地相互間の連携によって観光圏を形成し、その観光の魅力の増進により国際競争力を高め、国内外からの観光旅客の来訪及び滞在を促進する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光情報を相互にPR ● 観光プロモーション (北海道、東京、仙台、横浜) ● モンベルと連携した会員向けイベント ● 4市連携の観光商品化支援
<p>福島「道の駅」連絡会協働会議 (福島県北地域における道の駅登録担当課長及び道路管理者担当課長等)</p>	<p>道の駅に関する企画から経営に至る多くの事項等について、相互の連絡を図り、もって利用者の利便性向上、質的向上等に寄与する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● スタンプラリー等共同イベント
<p>福島相馬米沢地域経済開発懇談会 (3市の商工関連団体)</p>	<p>東北中央自動車道および福島相馬道路を活用し、3市の相互地域開発並びに経済発展を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 早期完成に向けたイベント・フォーラム ● 会報誌による観光情報の相互PR ● 店舗・商品情報の相互PR ● 福島・米沢の大学間技術連携セミナー開催
<p>福島県相馬港利活用協議会 (福島県、相馬市、新地町、南相馬市、及び関連市町の商工関連団体、海運関連企業、エネルギー企業等)</p>	<p>相馬港の貿易拡大と国内貨物の流通活性化を積極的に推進し、背後圏を含む地域経済の振興を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 港湾関連情報等の提供 ● 調査研究活動 ● ポートセールス活動 ● 助成事業

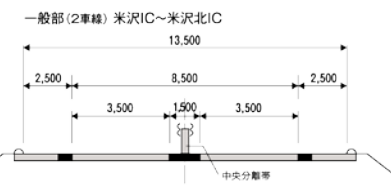
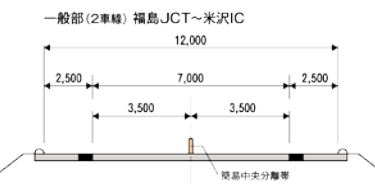
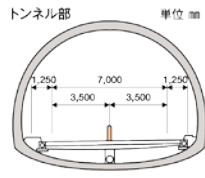
福島と山形を結ぶ東北中央自動車道 福島JCT～米沢北IC



**東北中央自動車道
延長約37km**

東北中央自動車道（福島～米沢北）の計画諸元・標準横断面

起点	福島県福島市笹谷字上畑
終点	山形県米沢市窪田町小瀬
延長	3.7 km
車線数	2車線（整備計画4車線）
道路規格	第1種2級
設計速度	100km/h



高規格幹線道路網



H29年11月現在

凡例

- 開通区間
- 事業中区間
- 事業中区間（直轄高速）
- 計画区間
- JCT
- 主なIC

() 番号のIC-JCT番号は仮称

■ 南東北における高速道路ネットワークの変遷

1975 (S50)
東北自動車道 (泉ICまで開通)



1998 (H10)
磐越自動車道全線開通後



2018 (H30.3月)
現在



国道115号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会 第4回懇談会

分野別地域連携施策（案） （6分野）

平成30年1月

【実施目的】

- 流動の少ない沿線地域の観光地間において、相互に観光客を行き来させるため、一つの観光エリアとして沿線地域の魅力を集約し、地域間の観光交流と主要都市からの誘客を促進



■観光情報コーナー(イメージ)

【実施内容（詳細）】

- 沿線地域観光資源の洗い出し（“強み”の共有化）
- 観光情報の相互PR手法の検討
 - ⇒沿線地域の観光情報、仙台・首都圏からの誘客とともに、周辺の大規模観光地を考慮したモデルコース、交通アクセス情報等を掲載したHP、広域観光パンフレット（インセンティブ等仕掛け含む）等の作成
 - ⇒既存の観光情報コーナー、福島県や沿線市町村の広報誌・HPを活用した観光情報提供
 - ⇒福島県庁や沿線地域内市町村役場等の公的施設及び観光施設に観光情報コーナーを設置等
- 誘客施策の検討
 - ⇒観光商品の開発、観光地アクセス交通の検討 等

相馬福島道路の開通を契機とした地域連携施策案(背景)

～相馬福島道路・東北中央自動車道を活用した観光誘客の促進～

<沿線地域の現況 (課題・ポテンシャル) >

- 沿線地域には**多様な観光施設が立地**しており、フルーツ狩りやパークゴルフ場など**共通する観光資源**もみられるが、**沿線地域間の観光流動は少ない**



▲沿線地域における観光施設立地状況



▲福島市を訪れる個人観光・レジャー客の立ち寄り先

<沿線地域の意向・取組み>

- 観光面の取組み意向は高く、**広域観光マップの作成**や**複数の自治体による相互PR**の必要性が指摘されている

【「国道115号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会 (第3回)」における意見等】

- 19機関のうち15機関が「**観光に関する地域連携アクションが必要**」(指摘率79%)、「**県境を越えた沿線広域観光マップを作成すべき**」との意見

【「福島相馬米沢地域経済開発懇談会」「福島市・相馬市二本松市伊達市観光圏協議会」「公益社団法人福島県観光物産交流協会」

「一般社団法人とうほう地域総合研究所」「相馬市産業部商工観光課」への観光面の地域連携施策に関するヒアリング調査】(平成28年12月～平成29年2月)

- 沿線地域の海の幸・農産物を食べる観光、相馬・伊達・米沢・二本松等歴史的なつながりを学ぶ観光など**周遊シナリオ**が大事
- 地域経済開発懇談会では、福島～米沢間の開通にあわせた**相互の店舗・商品の紹介を行う取組み**を進めている
- 宿泊施設の少ない沿岸部**を観光したり、スポーツ施設(相馬光陽サッカー場など)を利用する場合、**当該道路を利用することで、福島の温泉地で宿泊が可能になるなど新たな周遊観光ルート**が形成、例えば**会津・喜多方～米沢～福島～相馬**の周遊ルートが形成され、**仙台等からの集客に期待**

<参考：他地域の連携事例>

- 行政主導による相互の観光PR活動、民間主導による連携イベントの実施など、**高速道路の開通機会を活かした観光活性化**に向けて、多様な取り組みが各地で行われている

相馬福島道路の開通を契機とした地域連携施策案

～相馬福島道路の開通を契機とした道の駅の連携～

【実施目的】

- 沿線地域及び周辺に多く存在する道の駅同士が連携することで、沿線地域の観光地間の周遊や主要都市からの誘客とともに、特産品の相互販売促進による沿線地域地場産業の活性化を図る



■「道の駅」共同イベントチラシ(事例)

【実施内容（詳細）】

- 「道の駅連携会議」の設置
- 連携会議を設置した上で、
 - ⇒ 相互観光情報提供
 - ⇒ 特産品の相互販売
 - ⇒ 相馬福島道路開通記念イベント等共同イベントの開催
 - ⇒ 観光地と道の駅を結ぶ観光地バス運行
 - ⇒ 「相互」に誘客できる人材育成など継続的な連携推進方策の策定 等



■「道の駅」連携フェアのチラシ(事例)

相馬福島道路の開通を契機とした地域連携施策案(背景)

～相馬福島道路の開通を契機とした道の駅の連携～

<沿線地域の現況(課題・ポテンシャル)>

- ・平成29年5月には「国見 あつかしの郷」が開業。
平成30年春には「米沢」、「伊達の郷 りょうぜん」が開業
予定である他、大笹生IC周辺においても計画中
- ・もも、りんご、きゅうり、アルストロメリア、ぶどうなど**全国シェア**
や**東京市場における取扱量シェアの高い農産品**がある



▲ 道の駅「米沢」整備イメージ



▲ 道の駅「国見 あつかしの郷」



▲ 道の駅「伊達の郷 りょうぜん」

▲ 沿線地域における道の駅立地状況

<参考：他地域の連携事例>

- ・各々の道の駅で自慢の逸品を販売する共同イベントの開催や、地元特産品が当たるスタンプラリーの実施、連携組織の設立等、道の駅同士の多様な連携活動が全国各地で展開されている

<沿線地域の意向・取組み>

- ・一対一の連携は実施されているものの、周辺地域の**複数の道の駅による連携活動(情報提供、物産品販売等)**は行われていない
- ・**高速道路の開通を機に連携策を講じる必要性は認識**されている
- ・**連携イベントの開催や互いの特産品(6次化商品含む)の販売交流、観光情報の共有**等のニーズが高い

【相馬商工会議所への道の駅「そうま」に関するヒアリング調査】
(平成28年1月)

《道の駅同士の連携活動の実態》

- ・周辺地域の複数の道の駅による連携活動は特に実施していない
- ・道の駅「そうま」で販売している海産物を道の駅「ひらた」(平田村)で販売してもらうなど、**互いの物産品の販売交流は行っている**

《道の駅同士の連携活動の必要性》

- ・道の駅間の**連携は必要**だと思う
- ・沿線エリアを周遊していただく等、**交流人口の拡大を図る対策を開通を機に講じる必要がある**
- ・相馬福島道路が開通するタイミングにイベントを開催するなど、**話題性のある時に取り組めれば**と思う

《有効と考えられる道の駅同士の連携策》

- ・イベント開催時における**各道の駅からの特産品提供や出店**(Ex.相馬の海産物を中通りや会津で販売)
- ・**スタンプラリーの実施、鹿島SAで道の駅イベントを開催**(来訪者に周辺道の駅のことを知ってもらう)
- ・各道の駅への案内誘導によって**回遊性を生み出す**ことや、**高速道から一般道に降ろす**ことが大事
- ・**観光チラシ、観光パンフレットを互いの道の駅に置いてもらう**取り組み

相馬福島道路の開通を契機とした地域連携施策案 ～沿線地域における災害時相互支援体制の強化～

【実施目的】

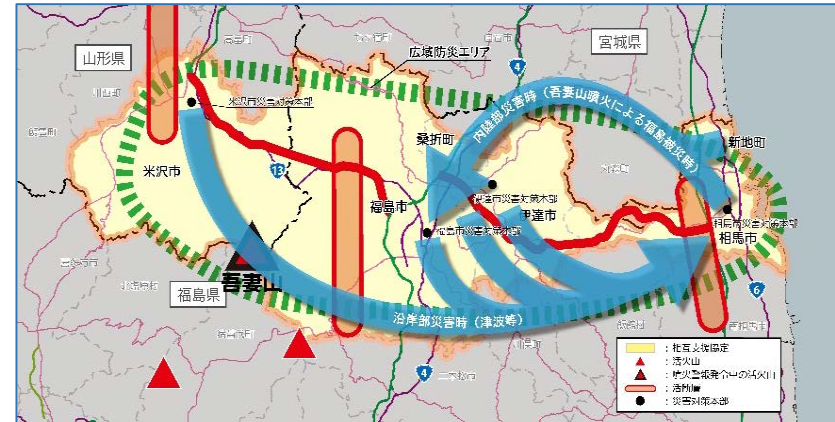
- 内陸部と沿岸部で異なる大規模災害に対応するため、相互に支援できる防災体制の強化
- 沿線地域住民の防災意識の維持・向上



■ 福島・宮城・山形広域圏災害時相互応援協定

【実施内容（詳細）】

- 防災上の課題や防災対策等に関する**情報交換ができる体制構築**
- 災害時の役割分担を明確にした災害時**相互支援計画**策定
- 沿線**地域防災マップ**の作成
- 広域防災訓練等**合同イベントの開催** 他
- 必要に応じて沿線地域のみで**新たな協定を締結**



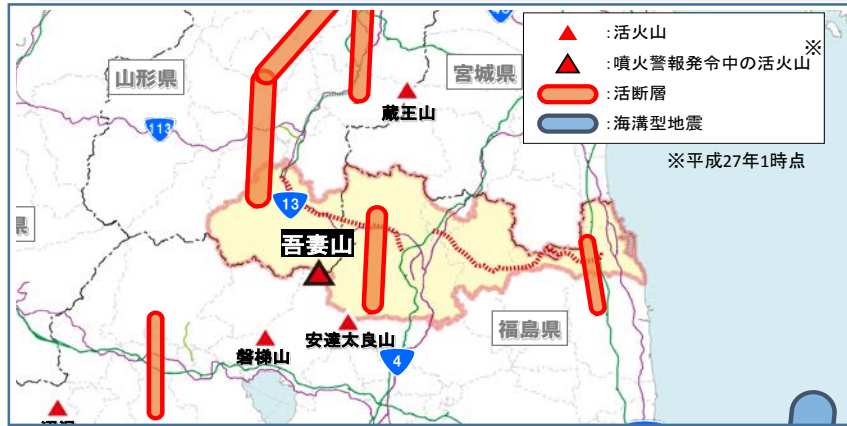
■ 沿線地域における災害時相互支援体制のイメージ

相馬福島道路の開通を契機とした地域連携施策案(背景)

～沿線地域における災害時相互支援体制の強化～

<沿線地域の現況(課題・ポテンシャル)>

- 沿線地域及び周辺には、吾妻山をはじめとする**活火山、活断層、海溝など地震発生源が点在**
- 沿線地域を含む広域的なエリアで、災害時に生活物資等の提供等に関する「**福島・宮城・山形広域圏災害時相互応援協定**」が締結(平成9年)されている他、一部**個別市町村間において災害時相互応援協定を締結**
- 「**福島・宮城・山形広域圏災害時相互応援協定**」では**年1回合同会議を開催**し、自主防災、避難行動、発令基準、応援協定の見直しについて意見交換を実施(ただし、あくまで**在り方に関する全体的な情報交換**)



▲沿線地域及び周辺における活火山及び今後発生が想定される地震

<沿線地域の意向>

- 既存の災害時相互応援協定を充実させるとともに、**沿線市町村全体で新たに検討することの必要性**を指摘

【沿線市町村への相互防災に関するアンケート調査結果(6市町のうち5市町より回答)】(平成28年1月)

【桑折町への防災に関するヒアリング調査】(平成29年2月)

- 「近隣市町村との**災害時応援協定について、さらに充実させることが必要である**」との意見(桑折町、新地町)
- 「東北中央自動車道が順次開通することを契機として、**沿線地域全体で災害時相互応援協定を新たに検討していくことは、有意義である**と思う」との意見(米沢市、伊達市、桑折町、新地町)
- 「全体の協定締結に向けた**情報交換会の実施、必要とする支援の情報発信と支援団体等との連携の仕組みが必要**」(新地町)

<参考：他地域の連携事例>

- 高速道路の開通を契機として、災害時の応急復旧に必要な資機材、物資、職員の提供・派遣、被災者の受け入れなどの災害支援活動について協定を締結し、通信途絶などにより連絡が取れない場合も含めて極め細やかな防災体制について整備している

▼沿線地域における災害時相互応援協定締結状況

赤：対象地域市町村
青：対象地域隣接市町村
緑：対象地域の県内市町村

協定名	締結自治体	締結年月日
大規模災害時の山形県市町村広域相互応援に関する協定	米沢市、他山形県内市町村	平成7年11月20日
米沢市・会津若松市災害時応援協定	米沢市、福島県会津若松市	平成8年11月18日
福島・宮城・山形広域圏災害時相互応援協定	《福島県地方広域行政圏(福島地方拠点都市地域)》 福島市、二本松市、伊達市、桑折町、国見町、川俣町、飯野町、大玉村、本宮市 《仙南地域広域行政圏》 白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町 《相馬地方広域市町村圏》 相馬市、南相馬市、新地町、飯館村 《亶理・名取広域行政圏》 名取市、岩沼市、亶理町、山元町 《置賜広域行政圏》 米沢市、長井市、南郷市、高島町、川西町、白鷹町、飯豊町、小国町	平成9年1月16日
福島県伊達市及び山形県米沢市大規模災害時相互応援協定	伊達市、山形県米沢市	平成25年2月19日
東北六都市災害時相互応援に関する協定	青森市、秋田市、盛岡市、山形市、仙台市、福島市	平成8年5月17日
災害時における相互援助協定	《福島県地方広域行政圏(福島地方拠点都市地域)》 福島市、二本松市、伊達市、桑折町、国見町、川俣町、飯野町、大玉村、本宮市	平成7年8月1日
災害時における相互応援に関する協定	桑折町、山形県上山市	平成24年8月10日
伊達藩「ふるさと姉妹都市・歴史友好都市」連絡協議会の災害時における相互応援協定書	桑折町、北海道伊達市・宮城県亶理町・山元町・柴田町	平成13年11月8日
災害時における相互応援に関する協定	桑折町、鉾川村	平成26年8月12日
災害時における相互応援に関する協定	桑折町、宮城県七ヶ宿町・山形県高島町	平成24年10月1日

相馬福島道路の開通を契機とした地域連携施策案 ～沿線地域における技術連携等による工業振興の取組み～

【実施目的】

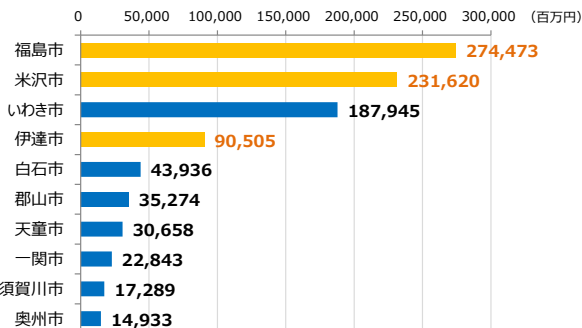
- 企業間取引が少ない沿線地域内企業における取引を拡大させ、**地域振興（雇用拡大、**
税収拡大等）を図る

【実施内容（詳細）】

- **ビジネスマッチングイベント開催**
- **大手企業訪問ツアー**（東邦銀行と沿線市町村との「包括協定」を活用）
- **技術連携に関する情報交換**
（山形大学工学部、福島大学、福島県立医科大学における**技術連携の取組みを活用**）
- 企業を取り込んだ**共同研究・商品開発** 他



■ 沿線地域の情報通信機械器具製造業事業所



■ 東北地方の製造品出荷額等上位市町村
(情報通信機械器具製造業)

(H28経済センサス活動調査)

北九州～大分～宮崎 自動車産業交流ツアー

当企業会では、東九州自動車道の開通を契機として、平成27年度より興域を越えた企業連携等を促進するため、「パーツネット北九州」及び「宮崎県自動車産業振興会」との合同による交流事業を行うこととなり、このたび、交流事業の一環として、3団体合同による自動車産業交流ツアーを実施します。（今年度は、パーツネット北九州の会員企業等を当企業会と宮崎県自動車産業振興会が合同で視察し、あわせて各団体間による意見交換会を行います。）
県内の自動車関連企業との交流を深める良い機会となりますので、是非、ご参加下さい。



スケジュール (予定)	開催日	平成27年9月3日 (木)
集合 大分駅 8:50 ※中津駅は10:20に集合	募集人員	20名程度 ※申込多数の場合は調整します。
視察 11:00～12:00 松本工業(株)豊前工場	【視察】	松本工業株式会社 豊前工場 (豊前市宇島広小路78番22 0979-82-1171) *当企業会単独 同社は昭和41年に創業。住宅部品と建材部品等の製造・販売を行い、昭和55年から自動車部品の製造を開始。現在は、傘下の子会社を通して商社、食品スーパー等の事業を営む複合企業として成長しています。当社の松本代表取締役は「パーツネット九州の副会長を務めており、今回は当社の主力製品である自動車シート関連部品及びインパルトアビーム等を製造する豊前工場を視察します。
昼食 12:00～13:00 ※各自負担となります。		
視察 14:00～16:00 プラスチックオムニウム(株)北九州工場	【視察】	プラスチックオムニウム株式会社 北九州工場 (北九州市小倉北区鍛冶町1-9-20 093-522-0753) *宮崎県との合同 同社は、自動車用樹脂製燃料タンクの開発・製造・販売を主な事業とするフランスに本部を置く自動車部品メーカーの日本法人です。今回は平成15年から操業し、自動車用樹脂製燃料タンクシステムの製造を行っている北九州工場を視察します。
意見交換会 18:00～19:30 「一棒」 ※小倉駅周辺を予定しています。	【意見交換会】	※参加費5,000円/人が必要となります。 「一棒」(小倉駅周辺) 当企業会、パーツネット北九州、宮崎県自動車産業振興会の会員、役員、事務局参加による意見交換会を開催します。
解散 大分駅前 22:20 ※中津駅は21:00に解散		

■ 自動車産業交流ツアー案内(事例)

相馬福島道路の開通を契機とした地域連携施策案(背景)

～沿線地域における企業取引拡大に向けたイベント開催～

<沿線地域の現況 (課題・ポテンシャル) >

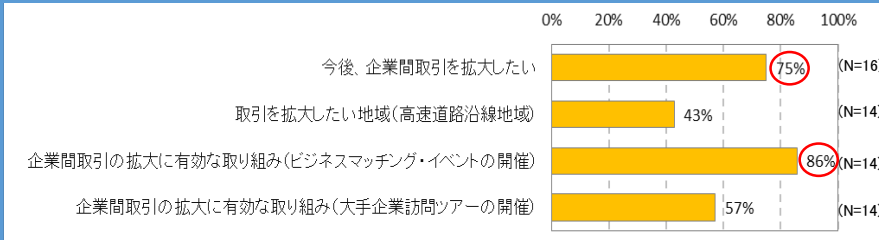
- 沿線地域のうち、**福島市、伊達市、米沢市**では、「**情報通信機械器具製造業**」の**製造品出荷額等が全体の4割以上**
- 特に、**東北地方**では**福島市が1位、米沢市が2位、伊達市が4位と上位**を占めている
- 沿線には**情報通信機械器具製造業が多数立地**しているものの、**沿線地域間の取引は少ない状況**

<沿線地域の意向・取組み>

- 沿線地域における**企業間取引の拡大意向が高い**
- 東邦銀行と沿線市町が**包括連携協定を締結**

【沿線企業への情報通信機械器具製造業に関するアンケート調査】(平成28年1月)

《沿線の情報通信機械器具製造業企業の声》

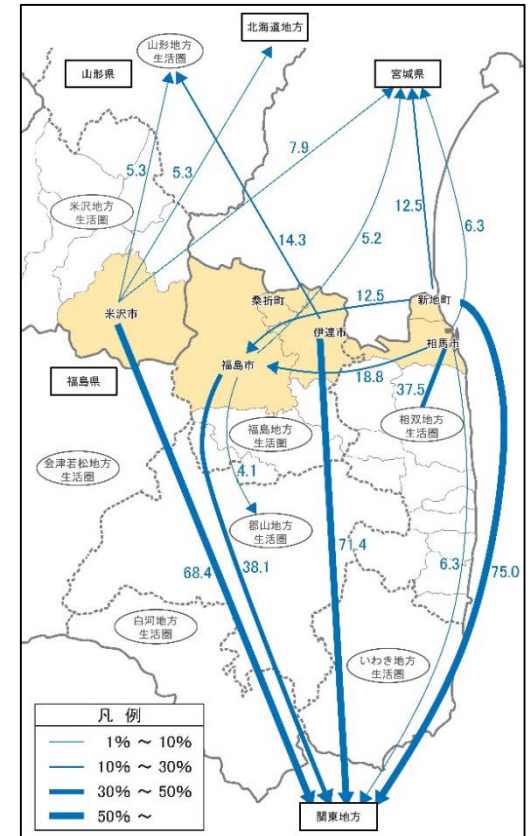


【「福島相馬米沢地域経済開発懇談会」へのヒアリング調査】(平成28年12月)

- 福島県立医科大学、福島大学 (以上福島市)、山形大学工学部 (米沢市) との**技術交流連携(セミナー開催等)**を進めている

【桑折町と東邦銀行との協定締結内容(連携事項)】

- 人口減少対策・地域経済活性化に関すること。
- 地域産品の販売および観光の振興に関すること。
- 災害対策に関すること。
- 地域および暮らしの安全・安心に関すること。
- その他**地域社会の活性化**および町民サービスの向上に関すること。



※信用調査会社による(H27)

▲沿線地域立地企業 (情報通信機械器具製造業)の納品先(%)

<参考：他地域の連携事例>

- 商談・展示会や業界団体合同の企業視察ツアー等、企業間取引拡大や企業連携を促進する様々な取組みが行われている

相馬福島道路の開通を契機とした地域連携施策案 ～県北・相双地域の「6次化交流会」の合同開催を活かした商品開発～

【実施目的】

- 沿線地域の特産品を活かした6次産業化や農商工連携を推進するため、「6次化交流会」を開催し、沿線地域の産業活性化を図る



■他地域で開催された地域産業6次化ネットワーク交流会

【実施内容（詳細）】

- 県北地域、相双地域で開催されている農林水産業の6次産業化や農商工連携などの新たな事業展開に向けた、意見交換や事業パートナーとの出会いの場を活用
 - ⇒ 県北・相双地域で開催している「6次化交流会」の合同開催
 - ⇒ 交流会では、6次産業化や農商工連携の成功事例を有する民間事業者や有識者等による講演会を開催
- これを受けて特産物等を活かした共同商品開発、相互PR、観光振興との連携（道の駅における商品販売など） 他

けんぽく6次化ミーティング 登録者募集

（ふくしま・地域産業6次化ネットワーク）

県北地域の農林水産物や加工品を軸とした新たな商品開発を促進するための「6次化交流会」を開催します。この交流会は、農商工連携の成功事例を有する民間事業者や有識者等による講演会を開催し、沿線地域の産業活性化を図ります。

募集要項

① 募集対象：県北地域の農林水産物や加工品を軸とした新たな商品開発を促進するための「6次化交流会」に参加する事業者や有識者等。

② 募集期間：2024年10月15日（火）～10月25日（木）

③ 募集定員：10名程度

④ 募集料：なし

⑤ 申込方法：お申し込みフォームから申し込みをお願いします。

⑥ 申込先：けんぽく6次化ミーティング事務局

⑦ 申込先住所：〒965-0802 福島県いわき市平田町1-1-1

⑧ 申込先電話：0246-22-1111

⑨ 申込先Eメール：kenpok@kenpok-net.jp

⑩ 申込先ホームページ：http://kenpok-net.jp

— せうせう・6次化ネットワーク 会員募集 のご案内 —

地域産業の6次化

地域産業の6次化とは、農林水産物や加工品を軸とした新たな商品開発を促進するための「6次化交流会」を開催することです。

この交流会は、農商工連携の成功事例を有する民間事業者や有識者等による講演会を開催し、沿線地域の産業活性化を図ります。

この交流会の開催に際しては、農商工連携の成功事例を有する民間事業者や有識者等による講演会を開催し、沿線地域の産業活性化を図ります。

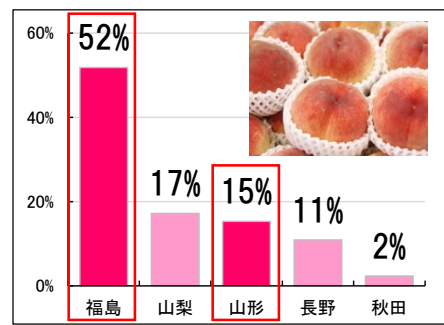
この交流会の開催に際しては、農商工連携の成功事例を有する民間事業者や有識者等による講演会を開催し、沿線地域の産業活性化を図ります。

■ 県北地域や相双地域で開催される6次化ミーティングの参加募集チラシ

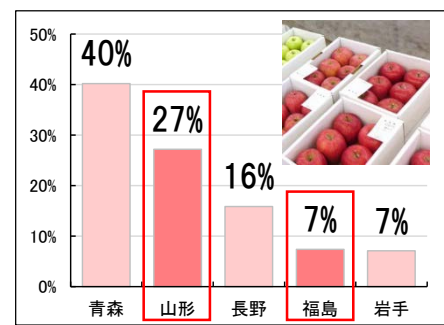
相馬福島道路の開通を契機とした地域連携施策案(背景) ～ 県北・相双地域の「6次化交流会」の合同開催を活かした商品開発～

<沿線地域の現況 (課題・ポテンシャル) >

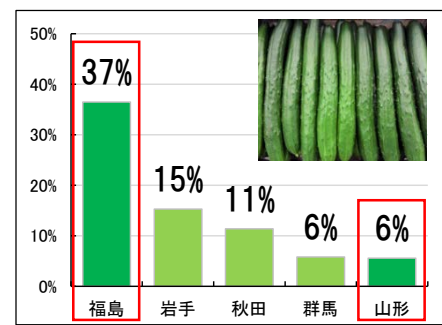
- ・もも、りんご、きゅうり、アルストロメリア、ぶどうなど**全国シェア**や**東京市場における取扱量シェアの高い農産品**がある
- ・県北地域、相双地域各々で、農林漁業者や流通・加工業者等の出会いの場となる**6次化交流会を実施**



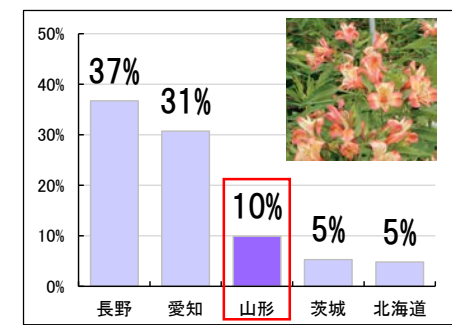
▲東京中央卸売市場
もも取扱量シェア(H28)



▲東京中央卸売市場
りんご取扱量シェア(H28)



▲東京中央卸売市場
きゅうり取扱量シェア(H28)



▲東京中央卸売市場
アルストロメリア取扱量シェア(H28)

<沿線地域の意向>

- ・**新商品開発**や**販路拡大**などによる**農商工連携の必要性**や**拡大意向**を確認
- ・**新たな取引先と出会うイベント**や**農商工連携について学べるイベント**が有効

【「国道115号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会 (第3回)」における意見】

- ・19機関のうち12機関が「**農林水産業に関する地域連携アクションが必要**」と指摘 (指摘率63%)
- ・漁港施設等を活用した**水産物の販路拡大**に向けた取り組みが必要 (相馬市建設部)
- ・地域の特徴を生かした**6次産業化を図るためには農商工の連携が必要** (桑折町産業振興課・地域整備課)

【沿線JAへのアンケート調査】(平成28年1月)【福島県相双地方振興局企画商工部へのヒアリング調査】(平成29年2月)

- ・**地元大学や食品企業と連携**して地元農産物を使ったスイーツの開発を行いたい
- ・販路拡大につながる**材料の供給を増やしたい**
- ・農商工連携の拡大には、**新たな取引先となりうる企業・団体と知り合えるイベント**や**農商工連携について深く学べるイベント**の開催が有効
- ・**県北の事業者との交流による生産者と加工者の新たなマッチング**や**交流会の合同開催、道の駅の活用**の可能性あり

<参考：他地域の連携事例>

- ・商工会や農協主導による**農商工観連携セミナー**や**銀行主導による商談会**、**行政主導による農水産品PRイベント**の実施など、様々な取り組みが各地で行われている

相馬福島道路の開通を契機とした地域連携施策案

～沿線地域における相馬港利活用メリットのPR～

【実施目的】

- 相馬港の利用促進による産業活性化

【実施内容（詳細）】

- 相馬港の**利用状況・開発動向の共有化**
- **活用メリット・課題の洗い出し**
⇒物流コストの低減効果、助成制度
⇒物流コストの乖離（実勢ベースとの乖離） 等
- 相馬港の利活用方策の検討
⇒**活用メリットの公表・PR**
⇒複数の荷主を確保し、**試験的に相馬港経由で輸送する社会実験を実施** 等

**相馬港海上コンテナ輸送
利用促進助成事業のご案内**


東日本大震災の影響により利用が低迷している東関東コンテナ船の利便性向上と沿線地域の活性化を目的としてコンテナ船運送を行う荷主及び船運事業者に対する支援策の一部として実施します。
 税金、海運輸送に発生することでCO2削減効果が期待される環境に優しい輸送が実現します。

◆助成概要
 ・助成対象者
 対象期間中に相馬港を利用して実入りコンテナ輸送を行う荷主等
 ・対象期間
 平成27年6月12日 ∞ 平成28年3月31日

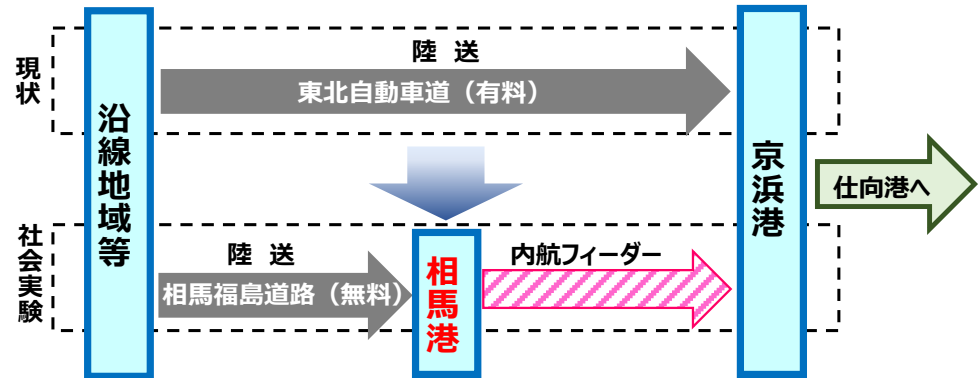
◆助成額
 荷主：コンテナ輸送を行った実入りコンテナ1本当たり2万円を助成
 空コンテナ調達・返却にかかる経費の一部を輸送距離により最大3万円を助成
 ※荷主とは輸送経費を負担した企業
 海運事業者：コンテナ輸送経費に対し50万円(定額)を助成

◆相馬港海上コンテナ航路
 苫小牧/八戸/釜石/仙台塩釜/小名浜/京浜に寄港するコンテナ船において
相馬港に途中寄港可能

◆コンテナ輸送に関するご用命は
 ・井本商運株式会社 営業部営業課
 TEL:078-322-1602
 e-mail: eigyou@imotoline.co.jp
 http://www.imotoline.co.jp



■相馬港海上コンテナ輸送
利用促進助成事業



■他港から相馬港への転換イメージ
(社会実験)

